

〇〇〇クリニック
御中
ID



日本医師会かかりつけ医診療データベース研究事業
J-DOME

第3回
J-DOME レポート

2021年8月
日本医師会総合政策研究機構

はじめに

新型コロナウイルス感染症の波が収まらない中、先生方におかれましては地域医療に大変なご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、3年前に開始しました日本医師会かかりつけ医診療データベース研究事業（J-DOME：ジェードーム）に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。このたび、2020年度までの3年分を纏めた「第3回J-DOMEレポート」を作成しましたのでご報告申し上げます。昨年7月に日本医師会と日本高血圧学会は連携協定を結び、糖尿病のみならず高血圧症例も対象としております。

J-DOMEの特長の1つは、リアルデータを活用して、日常診療を担うかかりつけ医の先生方へ情報提供を行うことです。臨床現場で関係者との連携のためにデータを使うこともできます。コロナ禍で生活習慣病の予防と重症化予防がますます重要となる中、地域医療のさらなる向上に向けてJ-DOME研究事業を推進したく、引き続き先生方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年8月

公益社団法人 日本医師会

会長 中川俊男

目次

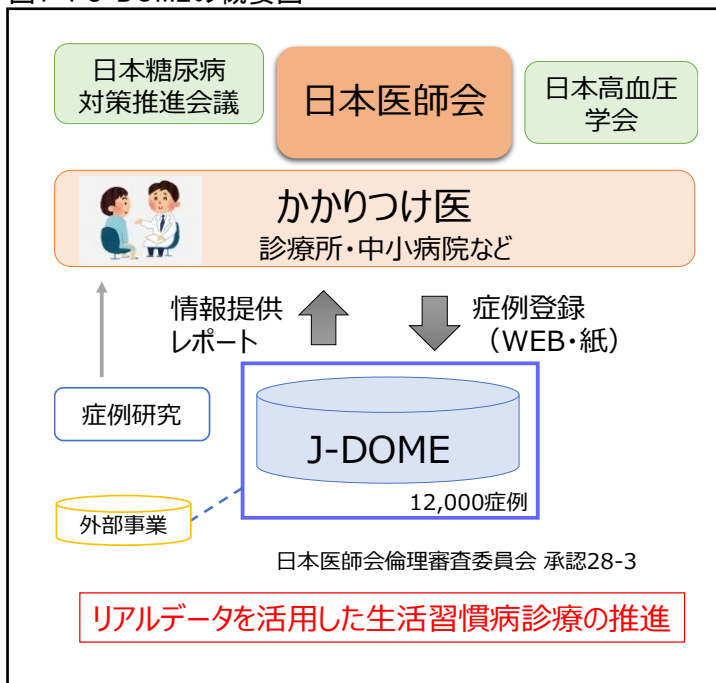
1. J-DOMEの概要	3
2. 全症例の集計（概要）	4
3. 糖尿病症例 — 貴院と全体（全体、一般医、専門医）（2018～2020年）	
3-1 基本情報、検査値	5
3-2 糖尿病合併症・併発疾患	9
3-3 処方薬の使用割合	12
3-4 療法指導、他科受診 他	14
3-5 検査値の分布	16
3-6 全体分析	18
4. 高血圧症例 — 貴院と全体（全体、一般医、専門医）（2020年）	
4-1 基本情報、検査値	23
4-2 併発疾患	25
4-3 処方薬の使用割合	27
4-4 療法指導	28
4-5 検査値の分布	29
4-6 全体分析	32
5. 考察	39

【参考】J-DOME症例登録票

1. J-DOMEの概要

J-DOME: Japan medical association Database Of clinical MEdicine

図1-1 J-DOMEの概要図



対象症例:

2型糖尿病症例
高血圧症例
高血圧と2型糖尿病の症例

参加協力施設・医師:

診療所の非専門医、診療所の専門医、
中小病院の非専門医

登録方法:

WEBまたは登録用紙記入
問診情報、検査値、処方の種類等
1回登録後は年に1回更新

日本医師会のJ-DOME研究事業にご参加下さりまことに有難うございます。

- ✓ 本レポートでは、糖尿病は2018年～2020年の3年間登録が行われた症例を集計分析しています。各年は年度を示し、各年の4月から翌年3月に受診された患者さんの情報を対象としています。
- ✓ 高血圧は2020年7月から2021年3月までの間に受診された患者さんの情報を対象としています。
- ✓ 貴院の症例（2018年、2019年、2020年の3年分かいずれかの年）と全体の症例の比較が可能です。糖尿病もしくは高血圧の非専門医（以下、一般医）と専門医の症例の集計を参考値として掲載しています。
- ✓ 糖尿病の専門医は日本糖尿病学会認定の専門医、高血圧の専門医は日本高血圧学会認定の専門医です。一般医と専門医とでは患者像が異なります。
- ✓ 登録票の必須項目が空白であったり、処方や数値等に不明な点があった等の症例は、集計の対象外としている場合がございます（登録頂いた症例がレポートに反映されていない場合があります）。ご不明な点などございましたらご連絡をいただけますと幸いです。

2. 全症例の集計(概要)

表2-1 各年の患者背景

	2018年		2019年		2020年	
	n = 4,773		n = 3,655		n = 3,669	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
年齢	68.0	11.8	68.7	11.6	68.5	11.9
BMI	25.1	4.3	25.1	4.3	24.9	4.3
性別(女性%)	41.8	%	41.8	%	40.3	%
喫煙率	16.6	%	16.0	%	17.0	%
外来血圧						
収縮期	130.4	15.4	130.1	15.5	130.9	16.6
拡張期	73.1	11.0	72.6	11.2	73.1	11.6
HbA1c	7.06	0.98	7.06	0.97	6.86	1.00
血糖値(随時)	156.7	54.2	156.4	53.7	154.9	53.6
(空腹時)	129.6	30.2	129.6	32.5	126.5	30.6
中性脂肪	151.4	108.0	155.4	110.9	147.3	98.5
LDL	107.2	27.5	110.1	28.5	107.7	35.8
HDL	56.8	16.1	57.0	15.9	57.3	16.1
総コレステロール	192.2	33.2	192.4	33.2	188.6	33.4
eGFR	70.4	21.4	69.0	20.2	67.9	20.7

2020年は高血圧のみの症例も含む

各年ごとの症例登録数は2018年は4773症例、2019年は3655症例、2020年は3669症例であった。2020年7月より高血圧症例の登録も開始しており、2020年の症例は糖尿病と高血圧の両方の症例を含む。

症例は初回登録後、毎年更新をお願いしている。次ページ以降の前半の【糖尿病】に関しては、特別の記載が無い限り、3年分登録されている糖尿病症例(n=2,139)を集計対象とした。後半の【高血圧】については2020年症例のうち症例登録票の高血圧部分に入力が行われている症例(n=1,647)のみを対象とした。

表2-2 新型コロナ感染症の発生後の通院の変化(2020年)

増加	変わらない	やや減少	大きく減少	その他
0.2%	88.7%	8.4%	2.5%	0.2%

n=3005 (不明・未回答(n=664)を除く)

新型コロナ感染症の蔓延による通院の変化に関する質問について、2020年に通院が大きく減少したと判断した症例は全体の2.5%、やや減少した症例は8.4%、通院回数に変化がなかった症例は88.7%であった。

3. 糖尿病症例 — 貴院と全体(全体、一般医、専門医)(2018～2020年)

【糖尿病症例】

3-1 基本情報、検査値

表3-1 基本情報

※日本糖尿病学会認定の専門医

		貴院		全体		一般医症例		専門医症例※	
		n = 46		n = 2,139		n = 1,312		n = 827	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
年齢 (歳)	2018	72.9	6.6	67.2	11.5	68.3	11.6	65.5	11.2
	2019	73.6	6.5	68.3	11.5	69.3	11.6	66.6	11.2
	2020	74.3	6.5	69.4	11.5	70.4	11.5	67.7	11.2
体重 (kg)	2018	59.7	10.9	65.5	14.4	65.0	14.2	66.3	14.8
	2019	59.1	10.6	65.2	14.4	64.8	14.2	66.0	14.8
	2020	59.7	10.9	64.8	14.5	64.4	14.3	65.5	14.8
BMI (kg/m ²)	2018	23.6	3.4	25.2	4.3	25.2	4.3	25.1	4.5
	2019	23.5	3.4	25.1	4.3	25.1	4.3	25.0	4.5
	2020	23.8	3.4	24.9	4.4	25.0	4.3	24.8	4.4
性別(女性%)	2020	52.2	%	41.5	%	44.1	%	37.4	%
外来血圧 収縮期 (mmHg)	2018	135.3	16.2	129.3	14.7	130.3	14.1	127.6	15.6
	2019	133.5	14.5	129.0	14.9	129.9	14.4	127.6	15.5
	2020	138.7	19.0	129.5	15.1	130.7	14.3	127.6	16.0
外来血圧 拡張期 (mmHg)	2018	74.8	12.2	72.4	11.0	73.0	10.1	71.4	12.2
	2019	72.9	9.1	71.8	11.0	72.3	10.5	71.1	11.7
	2020	73.2	10.9	71.5	10.9	72.2	10.2	70.5	11.9
HbA1c (%)	2018	6.86	0.52	7.10	0.92	7.00	0.87	7.25	0.97
	2019	7.00	0.55	7.07	0.90	6.95	0.87	7.25	0.93
	2020	7.07	0.59	7.05	0.96	6.95	0.93	7.21	0.97

全体の対象は連続して3年分の登録がある糖尿病症例。専門医症例の専門医は日本糖尿病学会認定の専門医。一般医症例の一般医は糖尿病専門医でないかかりつけ医。

平均年齢は69.4歳(±11.5)、一般医症例については70.4歳(±11.5)、専門医症例では67.7歳(±11.2)であった。性別では、女性が約4割を占めていた。血圧値は一般医症例で平均130.7/72.2mmHg、専門医症例で127.6/70.5mmHgであった。HbA1cは全体で7.05%(±0.96)、一般医症例は6.95%(±0.93)、専門医症例は7.21%(±0.97)で、いずれも2018年から悪化がみられなかった。新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えの症例が一部を占めたものの、症例全体では血糖管理が行われていて悪化傾向は見られなかった。

表3-2 基本情報(高齢者割合、罹患年数・家族歴、喫煙、飲酒(2020年))

	貴院		全体		一般医症例		専門医症例	
	n = 46		n = 2,139		n = 1,312		n = 827	
65～75歳未満 割合	41.3	%	35.8	%	35.0	%	37.1	%
75歳以上 割合	50.0	%	35.1	%	39.0	%	28.8	%
罹患年数	19.0	年	13.2	年	12.0	年	14.9	年
糖尿病の家族歴 有り	45.7	%	44.9	%	42.5	%	48.8	%
喫煙 有り	17.4	%	17.0	%	15.7	%	19.0	%
以前有り	43.5	%	30.0	%	30.1	%	29.7	%
飲酒 毎日	8.9	%	17.9	%	17.7	%	18.3	%
週に4～6日	6.7	%	6.1	%	5.9	%	6.4	%
週に1～3日	13.3	%	13.3	%	13.1	%	13.6	%

表3-3 検査値 (分布の表をp.16、17に掲載)

	%	貴院		全体		一般医症例		専門医症例	
		n = 46		n = 2,139		n = 1,312		n = 827	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
血糖値 (随時) (mg/dL)	2018	156.5	43.0	155.6	51.1	154.1	50.2	157.2	52.0
	2019	154.9	47.5	154.5	53.1	151.0	52.4	158.4	53.8
	2020	160.2	39.2	160.0	55.8	160.0	54.3	160.0	57.7
	n		38		1,538		834		704
血糖値 (空腹時) (mg/dL)	2018	139.3	22.9	129.1	28.6	129.1	28.9	129.2	27.9
	2019	131.0	8.2	130.4	26.4	129.9	26.2	131.9	27.1
	2020	134.8	12.6	129.9	33.5	131.2	35.0	125.2	27.3
	n		8		527		413		114
中性脂肪 (mg/dL)	2018	120.1	58.7	149.1	106.1	148.2	114.1	150.4	93.4
	2019	164.5	92.1	153.8	104.8	150.7	102.1	158.2	108.5
	2020	132.7	72.9	153.6	103.3	148.8	101.7	160.7	105.3
	n		22		2,018		1,207		811
LDL (mg/dL)	2018	—	—	—	—	—	—	—	—
	2019	112.2	31.6	109.3	28.4	109.9	29.2	108.4	27.1
	2020	105.3	26.4	107.2	28.0	106.9	28.7	107.7	26.8
	n		22		1,866		1,159		707
HDL (mg/dL)	2018	58.3	18.3	57.1	16.0	57.1	16.1	57.2	15.8
	2019	58.7	24.6	57.4	16.0	57.6	16.0	57.1	15.9
	2020	57.4	20.4	56.9	16.3	57.2	16.5	56.4	16.1
	n		22		1,901		1,117		784

表3-4 検査値（分布の表をp.16、17に掲載）

【糖尿病症例】

		貴院		全体		一般医症例		専門医症例	
		n = 46		n = 2,139		n = 1,312		n = 827	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
総コレステロール (mg/dL)	2018	185.8	30.0	191.7	33.4	190.3	34.2	193.2	32.5
	2019	197.4	30.6	191.8	33.6	189.9	33.7	193.8	33.3
	2020	187.8	30.3	190.1	32.9	186.6	32.5	194.1	32.9
	n	22		1,233		660		573	
血清クレアチニン (mg/dL)	2018	0.9	0.3	0.8	0.4	0.8	0.5	0.8	0.4
	2019	1.0	0.4	0.8	0.3	0.8	0.4	0.8	0.3
	2020	1.0	0.3	0.9	0.4	0.9	0.4	0.9	0.5
	n	21		1,978		1,197		781	
尿アルブミン/ クレアチニン (mg/gCr)	2018	47.4	114.8	63.6	235.6	67.1	279.0	59.1	165.9
	2019	26.6	50.5	78.4	300.0	71.9	295.9	86.1	305.0
	2020	3.4	4.8	61.3	190.6	45.7	102.0	76.6	247.6
	n	2		948		469		479	
ALT (U/L)	2018	18.7	7.7	23.0	19.0	22.5	16.9	23.8	22.0
	2019	20.6	11.0	23.2	16.6	23.1	17.8	23.3	14.7
	2020	14.3	5.0	24.0	18.1	24.3	19.4	23.4	16.0
	n	15		1,937		1,155		782	
eGFR (mL/min/1.73 m ²)	2018	61.9	16.7	70.6	21.0	70.0	21.9	71.4	19.8
	2019	57.3	16.4	69.5	20.1	68.9	20.2	70.4	19.8
	2020	55.9	16.5	67.3	20.4	66.7	20.4	68.3	20.4
	n	21		1,978		1,197		781	
尿酸値 (mg/dL)	2018	—	—	—	—	—	—	—	—
	2019	—	—	5.3	1.3	5.2	1.3	5.3	1.3
	2020	5.2	1.4	5.3	1.4	5.3	1.4	5.4	1.3
	n	19		1,821		1,116		705	

検査ごとに示す nは2020年のn数

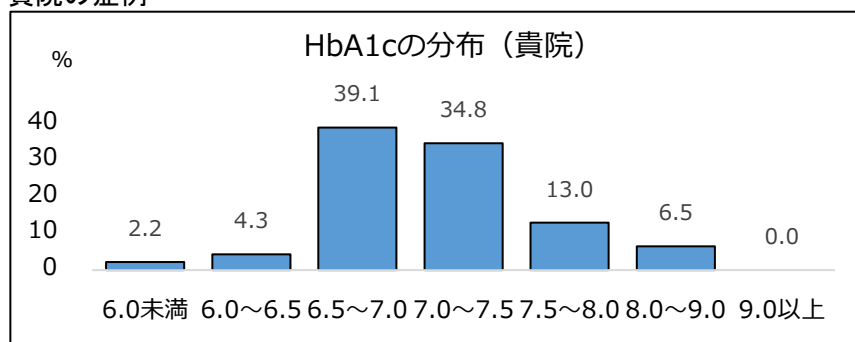
75歳以上の症例は一般医症例の39.0%、専門医症例の28.8%を占めた。糖尿病の罹患年数は一般医症例で平均12.0年、専門医症例で14.9年であった。家族歴（2親等以内）がある症例は、一般医症例で42.5%、専門医症例では48.8%であった。

検査値の観測では大きな変化は見られないが、中性脂肪は平均値が一般医症例148.8mg/dL(±101.7)、専門医症例160.7mg/dL(±105.3)であった。総コレステロールは一般医症例186.6mg/dL(±32.5)、専門医症例194.1mg/dL(±32.9)であった。

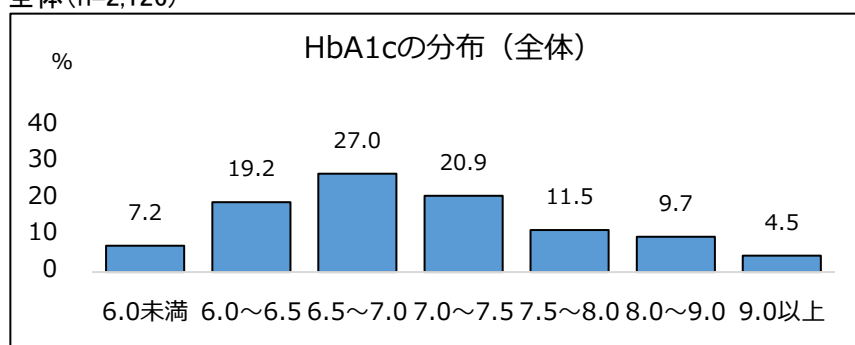
HbA1cの分布 (2020年)

図3-5

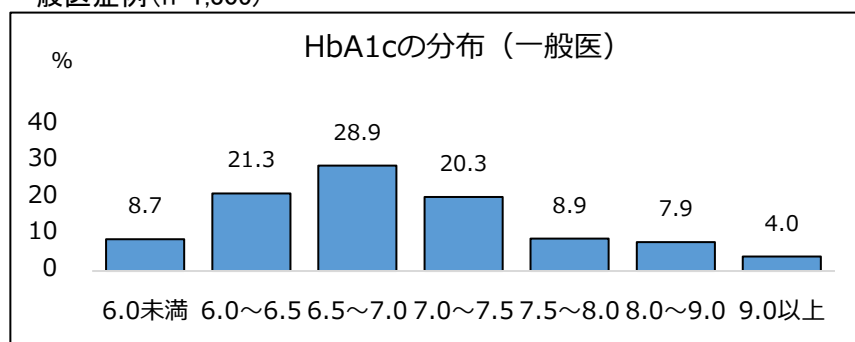
貴院の症例



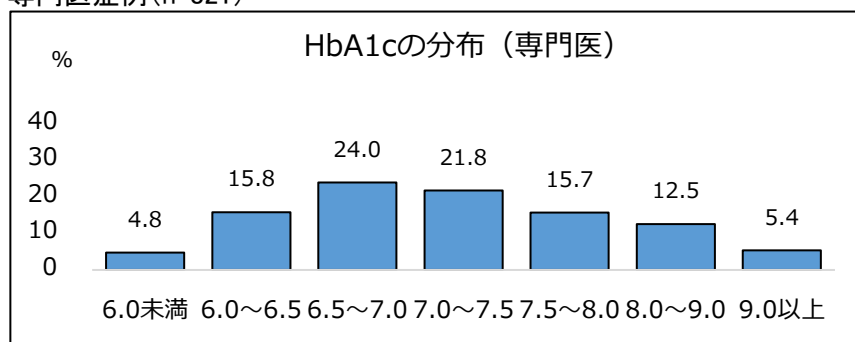
全体 (n=2,126)



一般医症例 (n=1,305)



専門医症例 (n=821)



3-2 糖尿病合併症・併発疾患

表3-6 合併症を有する症例の割合(%)

※日本糖尿病学会認定の専門医

	%	貴院		全体		一般医症例		専門医症例 [※]	
		n = 46		n = 2,139		n = 1,312		n = 827	
		あり	(参考)不明	あり	(参考)不明	あり	(参考)不明	あり	(参考)不明
神経障害	2018	6.0	2.0	13.3	4.7	8.8	3.1	20.4	7.1
	2019	6.0	2.0	14.2	2.7	9.6	1.5	21.4	4.6
	2020	4.3	2.2	14.5	3.1	9.5	2.5	22.4	4.1
足白癬	2018	24.0	0.0	13.2	5.0	11.4	4.1	16.1	6.3
	2019	24.0	0.0	13.6	4.2	11.9	3.0	16.2	6.0
	2020	26.1	0.0	13.6	4.4	11.7	3.8	16.4	5.4
足病変	2018	0.0	0.0	1.2	3.6	1.2	2.6	1.1	5.1
	2019	0.0	0.0	1.3	3.6	1.4	2.7	1.1	5.0
	2020	0.0	0.0	1.2	3.4	1.1	3.0	1.3	4.0
糖尿病網膜症	2018	32.0	0.0	13.2	22.3	9.1	28.0	19.7	13.3
	2019	34.0	0.0	15.1	21.6	9.9	26.8	23.3	13.2
	2020	32.6	0.0	15.8	21.2	10.2	26.4	24.7	12.8
	2020	単純	23.9	-	10.5	-	6.7	-	16.6
	増殖前	0.0	-	2.3	-	1.1	-	4.4	-
	増殖	4.3	-	1.5	-	1.1	-	2.3	-
人工透析	2018	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.1	-
	2019	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.1	-
	2020	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.1	-

一般医症例における神経障害の割合は9.5%、足白癬は11.7%、糖尿病網膜症は10.2%であった。専門医症例の神経障害の割合は22.4%、足白癬16.4%、糖尿病網膜症24.7%であった。いずれも増加傾向がみられた。

表3-7 併発疾患の診断がある症例の割合(%)

		貴院		全体		一般医症例		専門医症例		
%		n = 46		n = 2,139		n = 1,312		n = 827		
冠動脈疾患	2018	10.0		7.1		7.9		5.9		
	2019	10.0		7.9		8.6		6.9		
	2020	10.9		8.6		9.4		7.4		
脳血管疾患	2018	0.0		5.4		4.7		6.4		
	2019	0.0		5.8		5.0		7.0		
	2020	2.2		6.3		5.6		7.3		
がん・悪性腫瘍	2018	10.0		7.4		8.3		5.9		
	2019	14.0		8.3		9.1		6.9		
	2020	19.6		9.4		10.2		8.2		
New	心不全	2020	4.3		4.6		5.9		2.3	
	n	46		1,794		1,140		654		
New	不整脈	2020	7.9		7.6		9.0		5.2	
	n	38		859		534		325		
New	フレイル	2020	10.9		5.2		6.5		3.1	
	n	46		1,915		1,179		736		
認知症 (75歳以上)	2018	0.0		6.5		5.9		7.9		
	2019	0.0		7.6		7.2		8.4		
	2020	4.3		9.3		10.2		7.6		
		あり	(参考)不明	あり	(参考)不明	あり	(参考)不明	あり	(参考)不明	
歯周病	2018	34.0	8.0	16.2	30.3	13.6	26.4	20.3	36.4	
	2019	32.0	12.0	15.5	28.3	13.0	23.9	19.5	35.2	
	2020	32.6	15.2	15.7	30.8	13.3	27.0	19.6	36.9	

表3-8 併発疾患の詳細(2020年)

%	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
冠動脈疾患あり	10.9	8.6	9.4	7.4
心筋梗塞	0.0	2.9	3.0	2.9
狭心症	10.9	5.0	5.6	3.9
血行再建治療あり	6.5	4.9	5.4	4.1
脳血管疾患あり	2.2	6.3	5.6	7.3
脳梗塞	2.2	4.4	4.0	5.1
脳出血	0.0	0.4	0.3	0.6
くも膜下出血	0.0	0.2	0.2	0.2
一過性脳虚血発作	0.0	0.9	0.8	1.1

表3-9 併発疾患の詳細(2020年)

【糖尿病症例】

	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
%	n = 46	n = 2,139	n = 1,312	n = 827
がん・悪性腫瘍あり	19.6	9.4	10.2	8.2
胃がん	4.3	1.2	1.4	0.8
肺がん	0.0	0.7	0.8	0.6
大腸がん	0.0	2.2	2.6	1.7
乳がん	0.0	1.2	1.4	0.8
肝臓がん	2.2	0.3	0.5	0.1
すい臓がん	0.0	0.3	0.3	0.4
子宮がん	2.2	0.1	0.2	0.0
膀胱がん	2.2	0.7	0.5	0.8
その他	10.9	3.7	3.7	3.7
心不全あり	4.3	4.6	5.9	2.3
軽度	2.2	3.4	4.4	1.7
中等度	2.2	0.8	1.2	0.2
重度	0.0	0.2	0.2	0.2

がんの種類のその他は前立腺癌、リンパ腫などを含む

併発疾患として冠動脈疾患の診断がある割合は一般医症例の9.4%、専門医症例の7.4%であった。脳血管疾患の診断がある割合は一般医症例5.6%、専門医症例7.3%、がんは一般医症例10.2%、専門医症例8.2%であった。がんの種類の中で最も多いのは大腸がんで、続いて胃がんと乳がんであった。

一般医症例における心不全の割合は5.9%、不整脈は9.0%、フレイルは6.5%であった。専門医症例における心不全の割合は2.3%、不整脈5.2%、フレイル3.1%であった。認知症（75歳以上対象）の割合は、一般医症例で10.2%、専門医症例で7.6%であった。歯周病については不明の割合が高いが、一般医症例13.3%、専門医症例19.6%であった。

3-3 処方薬(糖尿病治療薬、降圧薬、脂質異常症薬、抗血栓薬)の使用割合

(2018年～2020年)

表3-10 糖尿病治療薬

	%	貴院	全体	一般医 症例	専門医 症例
	n=	46	1,811	1,196	615
スルホニル尿素(SU) 薬	2018	34.0	25.6	24.7	27.3
	2019	40.0	24.8	23.6	27.2
	2020	43.5	23.6	22.2	26.2
ビグアナイド薬	2018	38.0	43.1	40.9	47.3
	2019	40.0	45.0	43.1	48.8
	2020	45.7	46.2	45.2	48.1
DPP-4阻害薬	2018	70.0	67.6	70.3	62.4
	2019	72.0	68.0	71.1	62.1
	2020	73.9	67.3	69.6	62.9
SGLT2阻害薬	2018	14.0	20.5	21.2	19.3
	2019	18.0	25.6	26.8	23.3
	2020	19.6	30.1	30.6	29.3
αグルコシターゼ阻害薬	2018	18.0	12.6	14.5	9.1
	2019	14.0	13.1	15.1	9.3
	2020	13.0	12.0	13.4	9.4
チアゾリジン薬	2018	18.0	9.1	9.0	9.3
	2019	14.0	9.2	8.8	9.9
	2020	21.7	9.5	9.2	10.1
グリニド薬	2018	10.0	5.4	5.4	5.4
	2019	10.0	6.1	6.1	6.0
	2020	8.7	7.1	6.8	7.6
インスリン製剤	2018	24.0	14.5	11.7	19.8
	2019	24.0	14.4	11.6	19.7
	2020	21.7	13.8	11.4	18.5
GLP-1受容体作動薬	2018	8.0	3.4	1.9	6.2
	2019	2.0	4.2	2.7	7.2
	2020	6.5	4.9	3.6	7.3
糖尿病治療薬の処方 なし	2018	6.0	4.9	4.1	6.5
	2019	4.0	4.9	4.3	6.0
	2020	4.3	4.4	4.5	4.1

(当該薬剤を処方している症例数÷全症例、配合薬も含む)

薬剤を3種類以上処方 している症例の割合	2018	44.0	32.5	31.6	34.3
	2019	46.0	35.6	34.5	37.6
	2020	54.3	37.7	36.5	40.0

表3-11 降圧薬 (%)

		貴院	全体	一般医 症例	専門医 症例
%					
n=		46	1,811	1,196	615
ARB アンジオテンシンII受 容体拮抗薬	2018	42.0	46.6	50.8	38.5
	2019	44.0	47.7	51.6	40.2
	2020	47.8	46.3	51.2	36.9
カルシウム拮抗薬	2018	36.0	42.7	47.1	34.1
	2019	38.0	42.5	46.8	34.0
	2020	45.7	45.4	49.7	37.1
利尿薬	2018	2.0	8.4	10.4	4.6
	2019	6.0	8.9	11.4	4.1
	2020	10.9	10.0	12.5	5.2
β遮断薬	2018	6.0	7.0	8.1	4.7
	2019	6.0	7.1	8.4	4.7
	2020	10.9	9.3	11.4	5.2
ACE阻害薬	2018	14.0	3.2	3.4	2.8
	2019	14.0	3.1	3.5	2.4
	2020	10.9	3.1	3.3	2.8
New 鉍質コルチコイド受容 体(MR)拮抗薬	2020	0.0	0.9	1.1	0.5
New α遮断薬	2020	8.7	2.8	2.8	2.9
その他の降圧薬	2020	4.3	0.4	0.5	0.2

(当該薬剤を処方している症例数÷全症例、配合薬も含む)

表3-12 脂質異常症薬 (%)

		貴院	全体	一般医 症例	専門医 症例
スタチン系 (HMG-CoA還元酵素 阻害薬)	2018	32.0	43.7	47.5	36.4
	2019	38.0	46.1	50.1	38.4
	2020	37.0	46.3	51.6	36.1

New 表3-13 抗血栓薬 (%)

抗血小板薬	2020	19.6	11.4	13.8	6.8
抗凝固薬	2020	0.0	4.0	5.2	1.6
ワルファリン	2020	0.0	0.9	1.0	0.7
DOAC	2020	0.0	2.7	3.7	0.7
その他	2020	0.0	0.6	0.9	0.0

糖尿病治療薬の処方は、一般医症例でDPP-4阻害薬が69.6%、続いてビグアナイド薬45.2%、SGLT2阻害薬30.6%であった。専門医症例ではDPP-4阻害薬が62.9%、続いてビグアナイド薬48.1%、SGLT2阻害薬29.3%であった。降圧薬は一般医症例でARBが51.2%、カルシウム拮抗薬が49.7%、脂質異常症薬はスタチン系が51.6%で、いずれも約半数の症例に処方されていた。

3-4 療法指導、他科受診 他

表3-14 生活習慣の指導

		貴院	全体	一般医症例	専門医症例
%		n = 46	n = 2,139	n = 1,312	n = 827
食事療法	2018	90.0	89.5	88.6	90.9
	2019	90.0	90.0	89.3	91.0
	2020	95.7	91.7	89.7	94.9
運動療法	2018	62.0	76.5	75.9	77.4
	2019	66.0	77.0	75.4	79.5
	2020	71.7	78.9	76.2	83.1

表3-15 歯科と眼科の定期受診

		貴院		全体		一般医症例		専門医症例	
%		n = 46		n = 2,139		n = 1,312		n = 827	
		あり	不明	あり	不明	あり	不明	あり	不明
歯科定期受診	2018	79.6	0.0	39.6	21.1	40.0	16.5	38.9	28.0
	2019	75.5	6.1	38.6	19.3	41.3	14.2	34.6	27.4
	2020	67.4	10.9	37.4	21.0	39.3	16.4	34.4	28.2
眼科定期受診	2018	73.5	0.0	56.7	5.8	49.7	7.6	67.6	2.9
	2019	75.5	0.0	58.7	4.1	52.4	5.2	68.7	2.5
	2020	76.1	0.0	59.0	4.7	52.8	6.1	69.0	2.6

2020年の医師による食事療法は一般医症例で89.7%、専門医症例で94.9%、運動療法は一般医症例76.2%、専門医症例83.1%であった。

一方、歯周病予防に向けた歯科定期受診は一般医症例39.3%、専門医症例34.4%であった。糖尿病網膜症予防に向けた眼科定期受診については、一般医症例52.8%、専門医症例69.0%であった。これらの他科受診について、過去3年で大きく増加する傾向はみられなかった。

表3-16 低血糖、骨折、連携状況など(2020年)

	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
	n = 46	n = 2,139	n = 1,312	n = 827
%	あり	あり	あり	あり
他者の介助を必要とする低血糖の発生	0.0	0.5	0.5	0.4
転倒による骨折の有無	2.2	3.3	4.0	2.1
糖尿病連携手帳の使用	4.3	65.0	51.3	86.7
糖尿病に関する貴院以外の受診	54.3	11.3	13.3	8.2

表3-17 健診・保健指導を受けている割合(2020年)

%	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
定期的な健診の受診 (複数回答)				
特定健診	2.2	25.3	30.8	16.7
一般の健診	4.3	31.1	31.5	30.5
特定保健指導の有無	0.0	5.1	6.5	3.0

治療薬に起因する低血糖の発生の割合は1%未満であったが、転倒による骨折は一般医症例で4.0%であった。糖尿病連携手帳の使用は一般医症例で51.3%、専門医症例で86.7%であった。最後に、定期的な一般健診の受診は一般医症例で31.5%、専門医症例で30.5%で約3割であった。

3-5 検査値の分布(2020年)

【糖尿病症例】

表3-18 検査値の分布

	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
BMI(kg/m²)				
18.5未満	6.5 %	4.3 %	4.0 %	4.8 %
18.5以上25未満	56.5 %	52.6 %	51.5 %	54.5 %
25以上30未満	32.6 %	31.1 %	32.6 %	28.7 %
30以上	4.3 %	11.9 %	11.9 %	12.0 %
n	46	2,135	1,308	827
外来血圧 収縮期(mmHg)				
140以上	43.5 %	23.0 %	25.0 %	19.9 %
n	46	2,134	1,309	825
外来血圧 拡張期(mmHg)				
90以上	13.0 %	4.8 %	4.4 %	5.6 %
n	46	2,133	1,308	825
HbA1c(%) 再掲				
6.0未満	2.2 %	7.2 %	8.7 %	4.8 %
6.0~6.5未満	4.3 %	19.2 %	21.3 %	15.8 %
6.5~7.0未満	39.1 %	27.0 %	28.9 %	24.0 %
7.0~7.5未満	34.8 %	20.9 %	20.3 %	21.8 %
7.5~8.0未満	13.0 %	11.5 %	8.9 %	15.7 %
8.0~9.0未満	6.5 %	9.7 %	7.9 %	12.5 %
9.0以上	0.0 %	4.5 %	4.0 %	5.4 %
n	46	2,126	1,305	821
空腹時血糖値(mg/dL)				
110以上	100.0 %	74.6 %	74.6 %	74.6 %
126以上	62.5 %	48.6 %	50.4 %	42.1 %
n	8	527	413	114
随時血糖値(mg/dL)				
140以上	73.7 %	58.4 %	59.0 %	57.7 %
200以上	13.2 %	19.6 %	19.2 %	20.0 %
n	38	1,538	834	704
中性脂肪(mg/dL)				
150未満	63.6 %	60.7 %	63.2 %	56.8 %
150以上	36.4 %	39.3 %	36.8 %	43.2 %
n	22	2,018	1,207	811
LDL(mg/dL)				
120未満	72.7 %	67.3 %	68.2 %	65.8 %
120以上	27.3 %	32.7 %	31.8 %	34.2 %
n	22	1,866	1,159	707
HDL(mg/dL)				
40未満	13.6 %	10.9 %	9.9 %	12.4 %
40以上	86.4 %	89.1 %	90.1 %	87.6 %
n	22	1,901	1,117	784

	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
総コレステロール(mg/dL)				
220未満	86.4 %	81.4 %	85.5 %	76.8 %
220以上	0.0 %	18.6 %	14.5 %	23.2 %
n	22	1,233	660	573
ALT(U/L)				
30未満	100.0 %	78.1 %	77.2 %	79.3 %
30以上	0.0 %	21.9 %	22.8 %	20.7 %
n	15	1,937	1,155	782
ケトン体				
－	95.3 %	74.6 %	72.0 %	78.2 %
＋	4.7 %	1.2 %	1.0 %	1.5 %
2＋以上	0.0 %	0.1 %	0.2 %	0.0 %
未評価・不明	0.0 %	24.1 %	26.8 %	20.2 %
n	43	1,909	1,123	786
尿酸値(mg/dL)				
7未満	94.7 %	87.9 %	88.8 %	86.4 %
7以上	5.3 %	12.1 %	11.2 %	13.6 %
n	19	1,821	1,116	705
尿蛋白				
－	52.3 %	69.2 %	72.0 %	65.3 %
±	22.7 %	13.6 %	10.3 %	18.2 %
＋	13.6 %	7.7 %	7.1 %	8.4 %
2＋以上	11.4 %	6.1 %	5.3 %	7.1 %
未評価・不明	0.0 %	3.5 %	5.3 %	1.0 %
n	44	1,881	1,091	790
eGFR(mL/min/1.73m²)				
90以上	0.0 %	12.2 %	11.4 %	13.4 %
60以上90未満	42.9 %	52.4 %	52.0 %	53.0 %
45以上60未満	28.6 %	22.8 %	23.4 %	21.9 %
30以上45未満	23.8 %	9.5 %	9.5 %	9.3 %
30未満	4.8 %	3.1 %	3.7 %	2.3 %
n	21	1,978	1,197	781
尿アルブミン/クレアチニン比(mg/gCr)				
30未満	100.0 %	69.2 %	68.4 %	69.9 %
30以上300未満	0.0 %	26.6 %	28.8 %	24.4 %
300以上	0.0 %	4.2 %	2.8 %	5.6 %
n	2	948	469	479

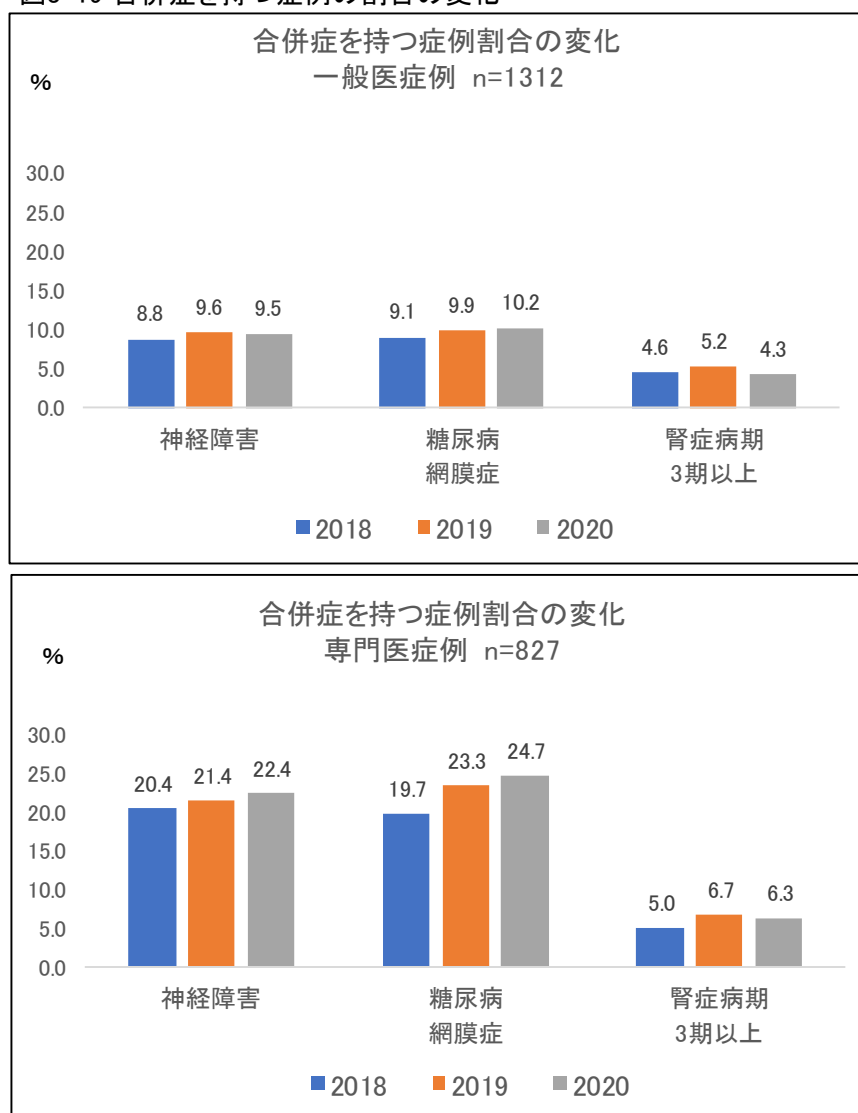
3-6 全体分析

① 糖尿病合併症と併発疾患の発症

糖尿病合併症

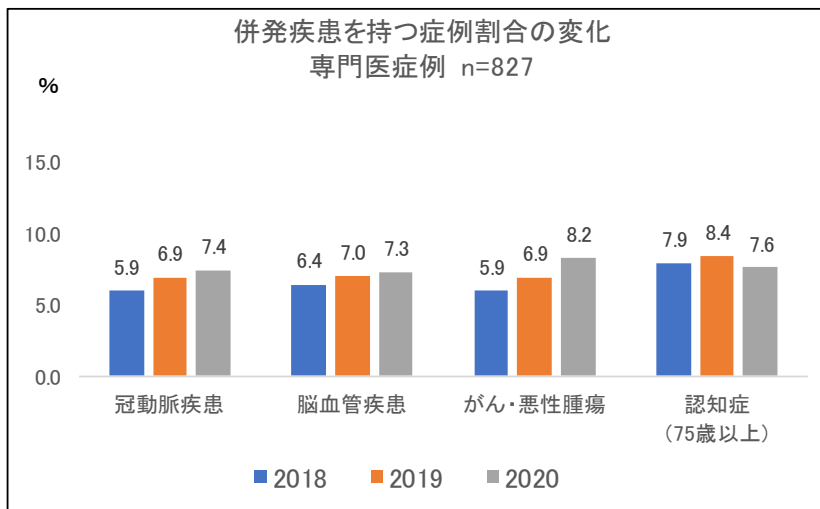
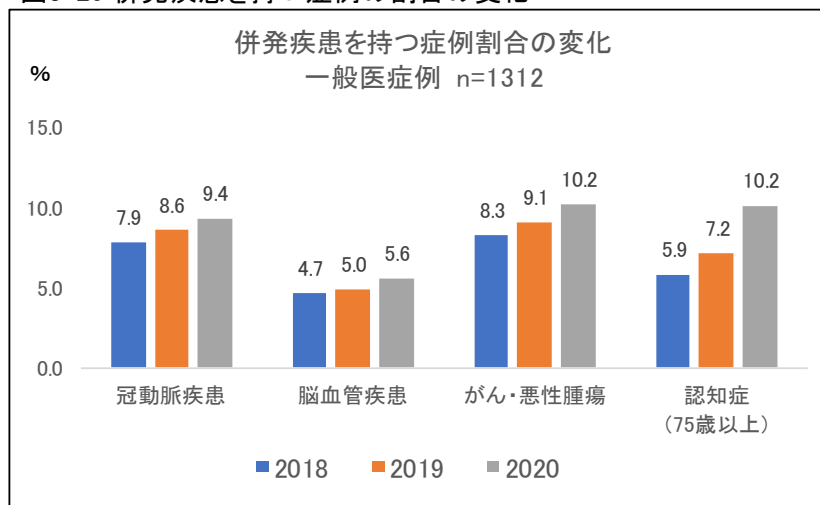
J-DOME症例の合併症の割合は、一般医症例で糖尿病網膜症が2018年の9.1%から2020年の10.2%に微増し、2020年の腎症病期3期以上は4.3%であった。専門医症例においては神経障害が20.4%から22.4%に増加、糖尿病網膜症は19.7%から24.7%に増加した。2020年の腎症病期3期以上は6.3%であった。糖尿病治療の目標は糖尿病の合併症の発症、進展を阻止し、健康な人と変わらないQOLの維持と寿命を確保することであり¹、特に罹患年数の長い症例における合併症について検討が求められている。

図3-19 合併症を持つ症例の割合の変化



一般医症例の中で冠動脈疾患、脳血管疾患、がん、認知症の診断がある症例の割合は2018年から2020年にかけて増加傾向がみられ、特に冠動脈疾患は7.9%から9.4%に増加した。また、がん・悪性腫瘍の増加が顕著にみられ、8.3%から10.2%に増加した。一方、専門医症例は一般医症例より平均年齢が低く、増加傾向は一般医症例より緩やかであるものの、がん・悪性腫瘍の増加がみられた。多変量解析では、これらの疾患の発症に年齢が大きく影響していたが、健診・検診の受診と他科受診の啓発の重要性が改めて示されている。

図3-20 併発疾患を持つ症例の割合の変化



②糖尿病性腎症の実態

【糖尿病症例】

全国の糖尿病性腎症由来の新規透析導入者数は16,019人（2019年）で全体の41.6%を占め、依然として高い割合である。J-DOME症例では腎症病期の第2期が一般医症例で27.7%、専門医症例で23.6%を占めた。第3期以降はそれぞれ4.3%、6.5%であった。腎機能に関わる検体検査は全般に高い割合で実施されているが、病期の判断に必要な尿アルブミン/クレアチニン比は実施率が低く、一般医症例で35.7%、専門医症例で57.9%であった。今後も啓発を進めていく必要性が示唆された。

表3-21 腎症病期(2020年)

一般医症例 n=465

病期	尿アルブミン/ クレアチニン (mg/gCr)	eGFR (mL/min/ 1.73m ²)	割合
第1期 (腎症前期)	30未満	30以上	68.0%
第2期 (早期腎症期)	30～300未満	30以上	27.7%
第3期 (顕性腎症期)	300以上	30以上	2.6%
第4期 (腎不全期)	問わない	30未満	1.7%
第5期 (透析療法期)	透析療法中	30未満	0.0%

専門医症例 n=478

病期	尿アルブミン/ クレアチニン (mg/gCr)	eGFR (mL/min/ 1.73m ²)	割合
第1期 (腎症前期)	30未満	30以上	70.1%
第2期 (早期腎症期)	30～300未満	30以上	23.6%
第3期 (顕性腎症期)	300以上	30以上	5.0%
第4期 (腎不全期)	問わない	30未満	1.3%
第5期 (透析療法期)	透析療法中	30未満	0.2%

日本腎臓学会 糖尿病性腎症病期分類(改訂)³

表3-22 検査の実施率

検査の種類	一般医症例 n=1312			専門医症例 n=827		
	2018	2019	2020	2018	2019	2020
尿蛋白	91.0%	95.7%	83.2%	91.8%	98.5%	95.5%
血清クレアチニン	85.7%	83.7%	91.2%	94.2%	94.2%	94.4%
尿アルブミン/クレアチニン比	34.0%	31.3%	35.7%	42.9%	42.9%	57.9%
ケトン体	—	90.2%	85.6%	—	97.2%	95.0%
尿酸値	—	82.2%	85.1%	—	85.5%	85.2%

③ 糖尿病治療薬(血糖降下薬とインスリン)の処方

【糖尿病症例】

糖尿病治療薬の2018年から3年間の処方変化を見ると、SGLT2阻害薬の処方割合の有意な増加がみられた。スルホニル尿素(SU)薬は微減、ビグアナイド薬は微増、GLP-1受容体作動薬は微増の傾向がみられた。一般医症例と専門医症例を比較すると、一般医症例でDPP-4阻害薬の処方割合は69.6%（2020年）で高い割合を占めた。インスリン製剤は、一般医症例で11.4%、専門医症例で18.5%を占めた。

図3-23 糖尿病治療薬の処方の変化(全体)

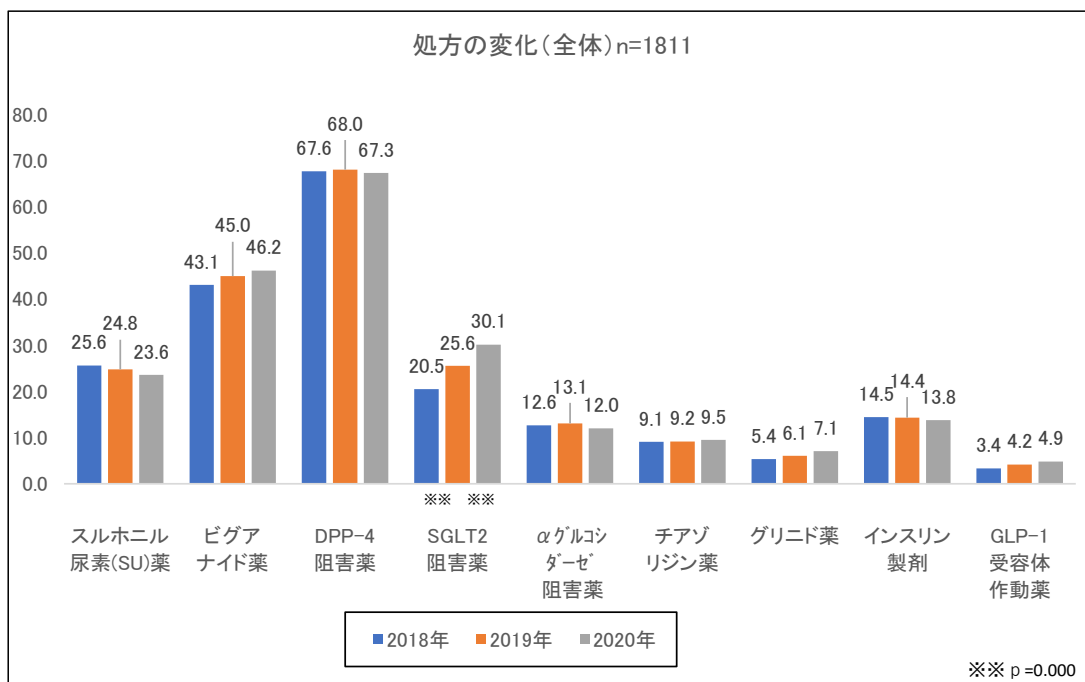
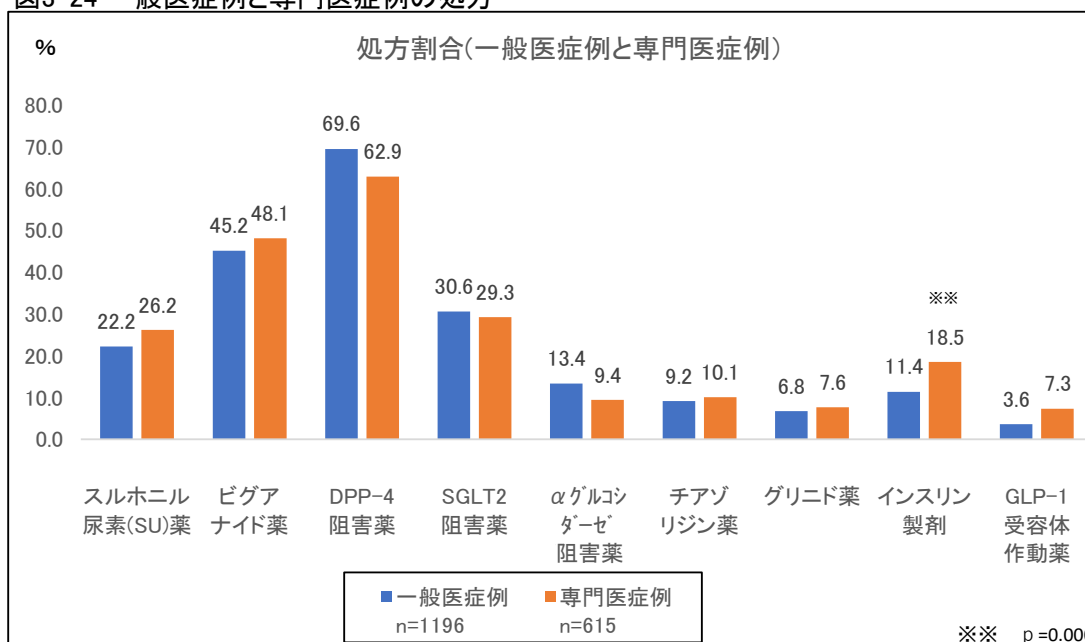


図3-24 一般医症例と専門医症例の処方



④ コロナ禍での受診回数の減少と状態変化

【糖尿病症例】

2019年と20年の両方に登録がある症例(n=2139)の中で、コロナ禍で2020年に外来受診回数が大幅に減少したと医師が判断した症例(n=68)は、全体平均に比べて状態悪化の傾向が顕著にみられた。HbA1cは全体平均は2019年から20年にかけて7.1%で変化が見られなかったが、受診回数が大幅減少した症例については7.4%から7.8%に悪化していた。また、受診回数が大幅に減少、やや減少、変わらないの間には、HbA1cの変化量に有意な差がみられた。コロナ禍においても、受診を継続することの重要性が示唆された。

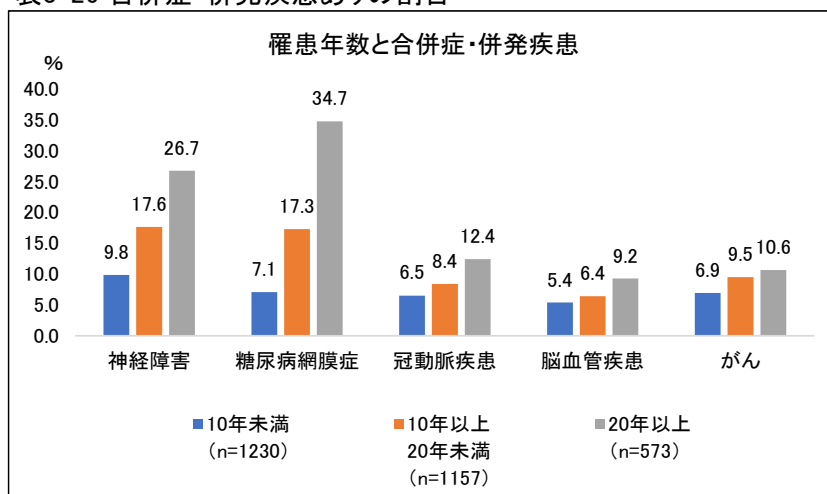
表3-25 受診回数が大幅に減少した症例の状態変化

年	全体(n=2,139)				うち2020年に受診回数が大幅減少(n=68)			
	BMI (kg/m ²)	HbA1c (%)	外来血圧 (収縮期) (mmHg)	総コレステロール (mg/dL)	BMI	HbA1c (%)	外来血圧 (収縮期) (mmHg)	総コレステロール (mg/dL)
2019	25.1	7.1	129.0	191.8	25.0	7.4	127.3	187.4
2020	24.9	7.1	129.5	190.1	24.8	7.8	132.2	195.9

⑤ 糖尿病の罹患年数と合併症・併発疾患の関係

2020年登録の糖尿病症例全体 (n=2960) を対象に、罹患年数が10年未満、10年以上20年未満、20年以上の3群で比較すると、神経障害、糖尿病網膜症の増加が顕著にみられた。冠動脈疾患、脳血管疾患、悪性新生物の割合も増加がみられた。平均年齢は10年未満は65.0歳、10年以上20年未満は69.4歳、20年以上は73.8歳であった。

表3-26 合併症・併発疾患ありの割合



※対象は2020年糖尿病症例全体

4. 高血圧症例 — 貴院と全体(全体、一般医、専門医)(2020年)

【高血圧症例】

4-1 基本情報、検査値(2020年)

表4-1 基本情報

※日本高血圧学会認定の専門医

	貴院		全体		一般医症例		専門医症例 [※]	
	n =		n =		n =		n =	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
年齢(歳)	74.6	6.4	69.4	11.3	69.2	11.2	70.0	11.5
体重(kg)	61.4	10.9	65.7	13.9	65.9	14.0	65.0	13.6
BMI(kg/m ²)	24.4	3.3	25.2	4.1	25.2	4.2	25.2	3.9
性別(女性%)	47.2	%	39.9	%	38.5	%	43.9	%

対象は2020年症例登録票の高血圧区分を選択した症例

表4-2 検査値(血圧と脈拍)(分布はp.29~31に掲載)

		貴院		全体		一般医症例		専門医症例	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
外来血圧 [※] 1回目 (mmHg)	収縮期	142.3	18.5	134.9	17.1	134.5	17.3	136.2	16.5
	拡張期	74.1	11.1	75.1	12.2	74.4	12.3	76.8	11.6
	収縮期n=	36		1,645		1,212		433	
	拡張期n=	36		1,645		1,212		433	
外来血圧 2回目 (mmHg)	収縮期	148.0	12.2	135.5	16.3	135.6	15.8	135.3	17.7
	拡張期	83.2	12.1	75.3	11.5	75.3	11.5	75.5	11.3
	収縮期n=	6		1,047		763		284	
	拡張期n=	6		1,049		764		285	
脈拍数	1回目			76.9	12.8	77.5	13.1	76.4	12.6
	2回目			73.9	12.4	75.8	12.2	72.0	12.4
	1回目n=	0		669		327		342	
	2回目n=	0		494		253		241	
家庭血圧 直近 (mmHg)	収縮期	134.7	11.3	126.2	12.2	126.6	11.4	125.7	13.1
	拡張期	86.0	11.3	74.3	10.2	73.9	9.9	74.7	10.6
	収縮期n=	3		790		414		376	
	拡張期n=	2		784		409		375	
家庭血圧 前回 (mmHg)	収縮期	130.0		125.5	12.6	125.7	11.6	125.3	13.4
	拡張期			74.4	9.9	73.9	9.5	74.8	10.3
	収縮期n=	1		662		324		338	
	拡張期n=	0		660		322		338	
脈拍数	直近			68.4	9.7	70.2	10.1	67.3	9.4
	前回			68.4	9.7	70.8	9.8	67.1	9.5
	直近n=	0		498		186		312	
	前回n=	0		476		168		308	

※診察室血圧をここでは外来血圧としている

表4-3 高齢者割合、罹患年数・家族歴、喫煙

	貴院		全体		一般医症例		専門医症例	
	n = 36		n = 1,647		n = 1,214		n = 433	
65～75歳未満 割合	41.7	%	36.3	%	36.1	%	36.7	%
75歳以上 割合	50.0	%	34.2	%	33.0	%	37.4	%
罹患年数	10.2	年	12.1	年	12.0	年	12.5	年
高血圧の家族歴 有り	11.1	%	40.3	%	35.7	%	52.2	%
喫煙 有り	19.4	%	15.2	%	17.1	%	10.2	%
以前有り	44.4	%	29.7	%	27.6	%	35.6	%
飲酒 毎日	8.6	%	22.4	%	21.0	%	26.3	%
週に4～6日	2.9	%	6.8	%	7.0	%	6.4	%
週に1～3日	17.1	%	11.3	%	11.1	%	11.6	%

表4-4 推定塩分摂取量

	貴院		全体		一般医症例		専門医症例	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
推定塩分摂取量(g)1日	11.1	3.3	9.7	2.7	10.2	3.0	9.1	2.4
n	6		577		269		308	

推定塩分摂取量は随時尿(起床後第2尿)検査による推定値 分布はp.31に掲載

高血圧症例の患者年齢は一般医症例で平均69.2歳(±11.2)、高血圧専門医症例で70.0歳(±11.5)であった。外来血圧値(1回目)は一般医症例で134.5/74.4(mmHg)、専門医症例で136.2/76.8、家庭血圧(直近)は一般医症例で126.6/73.9(mmHg)、専門医症例で125.7/74.7であった。1日の推定塩分摂取量は一般医症例で10.2g(±3.0)、専門医症例で9.1g(±2.4)であった。

表4-5 検査値（分布の表をp.29～31に掲載）

	貴院		全体		一般医症例		専門医症例	
	n = 36		n = 1,647		n = 1,214		n = 433	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
HbA1c (%)	7.1	0.6	6.6	1.0	6.7	1.0	6.3	0.9
n	36		1,516		1,124		392	
血糖値(随時) (mg/dL)	156.7	36.1	147.2	48.1	153.3	47.3	130.0	46.2
n	30		1,115		824		291	
血糖値(空腹時) (mg/dL)	138.5	12.3	120.6	28.4	125.1	29.1	104.7	18.5
n	6		580		452		128	
中性脂肪 (mg/dL)	130.7	78.8	147.6	89.7	148.2	92.0	146.2	83.6
n	18		1,538		1,112		426	
LDL (mg/dL)	105.4	29.0	107.1	33.8	106.9	36.1	107.4	27.6
n	18		1,434		1,015		419	
HDL (mg/dL)	57.6	21.3	57.6	16.2	56.2	15.7	61.1	17.1
n	18		1,500		1,074		426	
総コレステロール (mg/dL)	187.3	32.3	186.1	33.7	185.9	34.0	187.1	31.9
n	18		957		834		123	
血清クレアチニン (mg/dL)	1.0	0.3	0.9	0.5	0.9	0.5	0.9	0.6
n	18		1,523		1,094		429	
尿アルブミン/クレアチニン (mg/gCr)	0.0		154.6	1208.7	124.3	446.2	261.1	2433.5
n	1		701		546		155	
ALT (U/L)	14.6	5.3	24.3	17.3	24.3	17.8	24.0	15.7
n	13		1,497		1,077		420	
eGFR (mL/min/1.73m ²)	55.5	16.8	64.7	19.5	65.5	20.1	62.5	17.8
n	18		1,523		1,094		429	
尿酸値 (mg/dL)	5.3	1.4	5.5	1.3	5.5	1.3	5.5	1.3
n	17		1,460		1,043		417	

4-2 併発疾患(2020年)

表4-6 併発疾患の診断がある症例の割合(%)

%	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
糖尿病の診断	97.2	72.7	81.7	47.3
脂質異常症	72.2	66.8	65.1	71.8
高コレステロール血症	41.7	35.6	32.7	43.6
高中性脂肪血症	19.4	18.1	17.0	21.2
その他	0.0	0.2	0.2	0.0
腎臓病	33.3	26.3	25.2	29.3
慢性腎臓病	27.8	17.3	15.9	21.2
その他	0.0	7.2	8.4	3.9

表4-7 併発疾患の診断がある症例の割合(%)

	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
%	n = 36	n = 1,647	n = 1,214	n = 433
冠動脈疾患	11.1	9.2	9.2	9.0
脳血管疾患	2.8	7.7	7.3	8.5
がん・悪性腫瘍	19.4	9.4	9.2	9.9
心不全	5.6	6.4	5.8	8.3
n	36	1,437	1,076	361
不整脈	5.9	7.8	6.4	12.0
n	34	1,580	1,162	418
フレイル	11.1	3.4	4.2	0.8
n	36	1,510	1,145	365
認知症 (75歳以上)	5.6	5.0	5.0	4.9

表4-8 併発疾患の詳細

%	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
冠動脈疾患あり	11.1	9.2	9.2	9.0
心筋梗塞	0.0	3.6	3.7	3.2
狭心症	11.1	5.0	5.2	4.4
血行再建治療あり	8.3	4.7	4.9	4.2
脳血管疾患あり	2.8	7.7	7.3	8.5
脳梗塞	2.8	4.9	5.0	4.4
脳出血	0.0	0.9	0.7	1.2
くも膜下出血	0.0	0.5	0.5	0.5
一過性脳虚血発作	0.0	0.6	0.6	0.7
がん・悪性腫瘍あり	19.4	9.4	9.2	9.9
胃がん	2.8	1.3	1.2	1.8
肺がん	0.0	0.9	0.8	0.9
大腸がん	0.0	2.1	2.3	1.6
乳がん	0.0	1.3	1.5	0.9
肝臓がん	2.8	0.3	0.4	0.0
すい臓がん	0.0	0.2	0.3	0.0
子宮がん	2.8	0.1	0.1	0.2
膀胱がん	0.0	0.4	0.2	1.2
その他	13.9	3.5	3.3	4.2
心不全あり	5.6	6.4	5.8	8.3
軽度	2.8	4.3	3.9	5.5
中等度	2.8	0.8	0.9	0.6
重度	0.0	0.3	0.4	0.3

がんの「その他」は前立腺がん、リンパ腫を含む

4-3 処方薬(降圧薬、脂質異常症薬、抗血栓薬)の使用割合(2020年)

表4-9 降圧薬

【高血圧】

%	年	貴院	全体	高血圧	高血圧	糖尿病	糖尿病
				一般医 症例	専門医 症例	一般医 症例	専門医 症例 [※]
n=		36	1,647	1,214	433	1,094	553
ARB(アンジオテンシンII受容体拮抗薬)	2020	61.1	71.5	67.8	81.8	73.5	67.5
カルシウム拮抗薬	2020	58.3	69.5	68.5	72.5	71.5	65.6
利尿薬	2020	13.9	15.8	13.0	23.6	16.4	14.6
β遮断薬	2020	13.9	14.5	12.3	20.8	16.4	10.8
ACE阻害薬	2020	13.9	2.8	3.5	0.9	2.2	4.0
鉱質コルチコイド受容体(MR)拮抗薬	2020	0.0	2.5	1.5	5.3	3.5	0.5
α遮断薬	2020	11.1	4.7	5.0	3.7	4.8	4.5
その他の降圧薬	2020	5.6	0.5	0.6	0.2	0.5	0.4

糖尿病専門医は日本糖尿病学会認定の専門医
(当該薬剤を処方している症例数÷全症例、配合薬も含む)

表4-10 脂質異常症薬

%	年	貴院	全体	高血圧	高血圧	糖尿病	糖尿病
				一般医 症例	専門医 症例	一般医 症例	専門医 症例
スタチン系(HMG-CoA還元酵素阻害薬)	2020	38.9	48.3	46.5	53.3	48.7	47.4

表4-11 抗血栓薬

%	年	貴院	全体	高血圧	高血圧	糖尿病	糖尿病
				一般医 症例	専門医 症例	一般医 症例	専門医 症例
抗血小板薬	2020	19.4	14.1	13.8	14.8	15.7	10.8
抗凝固薬	2020	0.0	4.5	3.9	6.2	5.1	3.3
ワルファリン	2020	0.0	0.9	0.9	0.9	1.1	0.5
DOAC	2020	0.0	3.5	2.8	5.3	3.9	2.5
その他	2020	0.0	0.4	0.4	0.2	0.5	0.2

降圧薬の処方、高血圧の一般医症例ではARBが67.8%、カルシウム拮抗薬が68.5%、利尿薬が13.0%、β遮断薬が12.3%であった。高血圧専門医症例では、ARBが81.8%、カルシウム拮抗薬72.5%、利尿薬23.6%、β遮断薬20.8%であった。ACE阻害薬の処方は一般医症例で3.5%、専門医症例で0.9%で低い傾向が示された。

4-4 療法指導(2020年)

表4-12 療法指導

		貴院	全体	一般医症例	専門医症例
%		あり	あり	あり	あり
食事療法	2020	94.4	90.8	91.7	88.6
	n	36	1,593	1,162	431
運動療法	2020	69.4	80.8	82.9	75.5
	n	36	1,576	1,144	432
減塩の指導	2020		93.2	90.4	96.4
	n	0	705	376	329

高血圧患者への療法・指導の実施率は、全体で食事療法が90.8%、運動療法80.8%、減塩の指導は93.2%で高い割合であった。

4-5 検査値の分布(2020年)

【高血圧症例】

表4-13 検査値の分布

	貴院	全体	一般医症例	※専門医症例
BMI(kg/m²)				
18.5未満	2.8 %	2.5 %	2.8 %	1.8 %
18.5以上25未満	55.6 %	51.0 %	50.9 %	51.0 %
25以上30未満	36.1 %	35.0 %	34.3 %	37.2 %
30以上	5.6 %	11.5 %	12.0 %	9.9 %
n	36	1,615	1,182	433
外来血圧1回目				
収縮期血圧(mmHg)				
130以上	77.8 %	61.2 %	60.4 %	63.5 %
140以上	52.8 %	34.8 %	33.7 %	37.6 %
n	36	1,645	1,212	433
拡張期血圧(mmHg)				
80以上	27.8 %	36.3 %	35.0 %	40.0 %
90以上	16.7 %	11.2 %	10.9 %	12.0 %
n	36	1,645	1,212	433
外来血圧2回目				
収縮期血圧(mmHg)				
130以上	83.3 %	63.8 %	64.0 %	63.4 %
140以上	66.7 %	37.9 %	37.4 %	39.4 %
n	6	1,047	763	284
拡張期血圧(mmHg)				
80以上	83.3 %	36.8 %	37.3 %	35.4 %
90以上	16.7 %	11.1 %	11.1 %	10.9 %
n	6	1,049	764	285
家庭血圧直近				
収縮期血圧(mmHg)				
125以上	100.0 %	54.3 %	54.1 %	54.5 %
135以上	33.3 %	22.7 %	22.2 %	23.1 %
n	3	790	414	376
拡張期血圧(mmHg)				
80以上	50.0 %	32.0 %	32.0 %	32.0 %
85以上	50.0 %	13.9 %	11.2 %	16.8 %
n	2	784	409	375
家庭血圧前回				
収縮期血圧(mmHg)				
125以上	100.0 %	50.6 %	50.3 %	50.9 %
135以上	0.0 %	21.8 %	21.9 %	21.6 %
n	1	662	324	338
拡張期血圧(mmHg)				
80以上	%	30.3 %	28.9 %	31.7 %
85以上	%	13.0 %	12.1 %	13.9 %
n	0	660	322	338

※日本高血圧学会認定の専門医

	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
HbA1c(%)				
6.0未満	0.0 %	24.9 %	19.0 %	41.8 %
6.0～6.5未満	2.8 %	22.6 %	23.2 %	20.9 %
6.5～7.0未満	44.4 %	23.4 %	25.4 %	17.3 %
7.0～7.5未満	36.1 %	12.6 %	14.1 %	8.4 %
7.5～8.0未満	8.3 %	7.4 %	7.9 %	5.9 %
8.0～9.0未満	8.3 %	6.8 %	7.4 %	5.1 %
9.0以上	0.0 %	2.4 %	3.0 %	0.5 %
n	36	1,516	1,124	392
空腹時血糖値(mg/dL)				
110以上	100.0 %	60.9 %	69.9 %	28.9 %
126以上	66.7 %	36.6 %	43.6 %	11.7 %
n	6	580	452	128
随時血糖値(mg/dL)				
140以上	73.3 %	49.8 %	56.3 %	31.3 %
200以上	10.0 %	12.5 %	14.2 %	7.6 %
n	30	1,115	824	291
中性脂肪(mg/dL)				
150未満	66.7 %	63.3 %	62.9 %	64.3 %
150以上	33.3 %	36.7 %	37.1 %	35.7 %
n	18	1,538	1,112	426
LDL(mg/dL)				
120未満	66.7 %	67.9 %	68.9 %	65.4 %
120以上	33.3 %	32.1 %	31.1 %	34.6 %
n	18	1,434	1,015	419
HDL(mg/dL)				
40未満	16.7 %	10.5 %	11.7 %	7.3 %
40以上	83.3 %	89.5 %	88.3 %	92.7 %
n	18	1,500	1,074	426
総コレステロール(mg/dL)				
220未満	88.9 %	84.3 %	84.5 %	82.9 %
220以上	11.1 %	15.7 %	15.5 %	17.1 %
n	18	957	834	123
ALT(U/L)				
30未満	100.0 %	77.1 %	76.4 %	78.8 %
30以上	0.0 %	22.9 %	23.6 %	21.2 %
n	13	1,497	1,077	420
ケトン体				
－	94.3 %	88.3 %	84.5 %	97.7 %
＋	5.7 %	0.9 %	1.0 %	0.9 %
2＋以上	0.0 %	0.1 %	0.1 %	0.0 %
未評価・不明	0.0 %	10.7 %	14.5 %	1.4 %
n	35	1,477	1,051	426

	貴院	全体	一般医症例	専門医症例
尿酸値(mg/dL)				
7未満	94.1 %	87.4 %	86.8 %	89.0 %
7以上	5.9 %	12.6 %	13.2 %	11.0 %
n	17	1,460	1,043	417
尿蛋白				
－	52.9 %	70.5 %	67.2 %	78.4 %
±	23.5 %	13.5 %	14.2 %	12.0 %
+	11.8 %	7.4 %	8.0 %	5.9 %
2+以上	11.8 %	7.1 %	8.7 %	3.1 %
未評価・不明	0.0 %	1.6 %	1.9 %	0.7 %
n	34	1,469	1,044	425
eGFR(mL/min/1.73m²)				
90以上	0.0 %	8.6 %	9.8 %	5.6 %
60以上90未満	44.4 %	52.6 %	52.6 %	52.7 %
45以上60未満	22.2 %	23.2 %	22.2 %	25.6 %
30以上45未満	27.8 %	12.1 %	11.5 %	13.5 %
30未満	5.6 %	3.5 %	3.9 %	2.6 %
n	18	1,523	1,094	429
尿アルブミン/クレアチニン比(mg/gCr)				
30未満	100.0 %	63.3 %	63.0 %	64.5 %
30以上300未満	0.0 %	29.2 %	29.1 %	29.7 %
300以上	0.0 %	7.4 %	7.9 %	5.8 %
n	1	701	546	155
脈拍数(外来血圧1回目 測定時)(bpm)				
60未満	%	6.4 %	6.7 %	6.1 %
60以上100未満	%	88.6 %	88.4 %	88.9 %
100以上	%	4.9 %	4.9 %	5.0 %
n	0	669	327	342
脈拍数(外来血圧2回目 測定時)(bpm)				
60未満	%	9.9 %	6.7 %	13.3 %
60以上100未満	%	87.0 %	90.1 %	83.8 %
100以上	%	3.0 %	3.2 %	2.9 %
n	0	494	253	241
脈拍数(家庭血圧直近 測定時)(bpm)				
60未満	%	17.1 %	11.3 %	20.5 %
60以上100未満	%	82.3 %	87.1 %	79.5 %
100以上	%	0.6 %	1.6 %	0.0 %
n	0	498	186	312
脈拍数(家庭血圧前回 測定時)(bpm)				
60未満	%	17.9 %	10.7 %	21.8 %
60以上100未満	%	81.7 %	88.7 %	77.9 %
100以上	%	0.4 %	0.6 %	0.3 %
n	0	476	168	308
推定塩分摂取量(g) 随時尿(起床後第2尿)検査による推定値				
6.0未満	0.0 %	6.1 %	4.5 %	7.5 %
6.0以上10.0未満	33.3 %	52.5 %	43.9 %	60.1 %
10.0以上	66.7 %	41.4 %	51.7 %	32.5 %
n	6	577	269	308

① 外来血圧と家庭血圧

年齢階層別

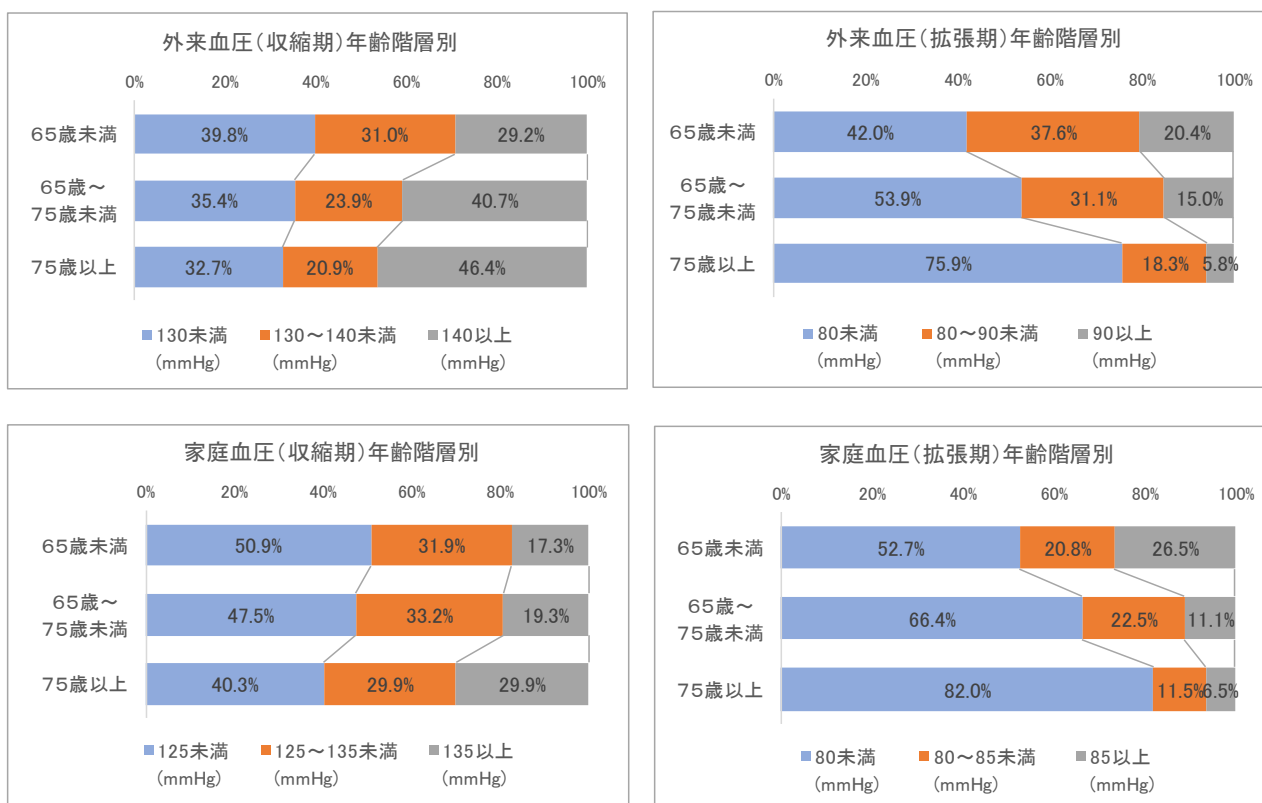
患者さんが自宅で測定する家庭血圧(n=784)は外来血圧の測定(n=1645)の47.7%にとどまっていた。外来血圧と家庭血圧の両方の測定値がある症例(n=784)では、外来血圧は136.3/76.6(mmHg)、家庭血圧は126.1/74.3(mmHg)であった。男性、女性ともに外来血圧のほうが家庭血圧より高いが、女性のほうがより差が大きい傾向が見られた。

年齢別に血圧値の分布をみると、75歳以上の外来血圧では140(mmHg)以上/90(mmHg)以上がそれぞれ46.4%/5.8%、であった。家庭血圧では135(mmHg)以上/85(mmHg)以上がそれぞれ29.9%/6.5%を占めた。収縮期血圧では加齢による血圧値の上昇がみられ、拡張期血圧では血圧値の低下がみられた。

表4-14 外来血圧と家庭血圧 n=784

		外来血圧(mmHg)		家庭血圧(mmHg)	
		収縮期	拡張期	収縮期	拡張期
合計	平均値	136.3	76.6	126.1	74.3
	標準偏差	16.81	12.00	12.19	10.23
男性	平均値	134.8	77.5	126.4	75.3
	標準偏差	16.04	12.04	11.71	10.24
女性	平均値	138.3	75.4	125.7	72.9
	標準偏差	17.61	11.85	12.81	10.06

図4-15 外来血圧と家庭血圧(年齢階層別)n=784



外来血圧と家庭血圧の両方の測定がある症例(n=784)について外来血圧と家庭血圧の相関関係をみると、収縮期で単相関係数が0.331、拡張期で0.524であった。収縮期では、家庭血圧は正常で外来血圧が高い「白衣効果の強い」症例が27.2%、外来血圧は正常で家庭血圧が高い「仮面効果の強い」症例は10.2%を占めた。高血圧管理率は50.4%で過去の研究に近い割合であった⁴。一方、拡張期では、白衣効果の強い症例が7.8%、仮面効果の強い症例が8.4%を占め、高血圧管理下の症例が78.3%を占めた。

(外来血圧と家庭血圧の測定がある症例n=784を対象)

図4-16 外来血圧と家庭血圧(収縮期) 相関係数: 0.331

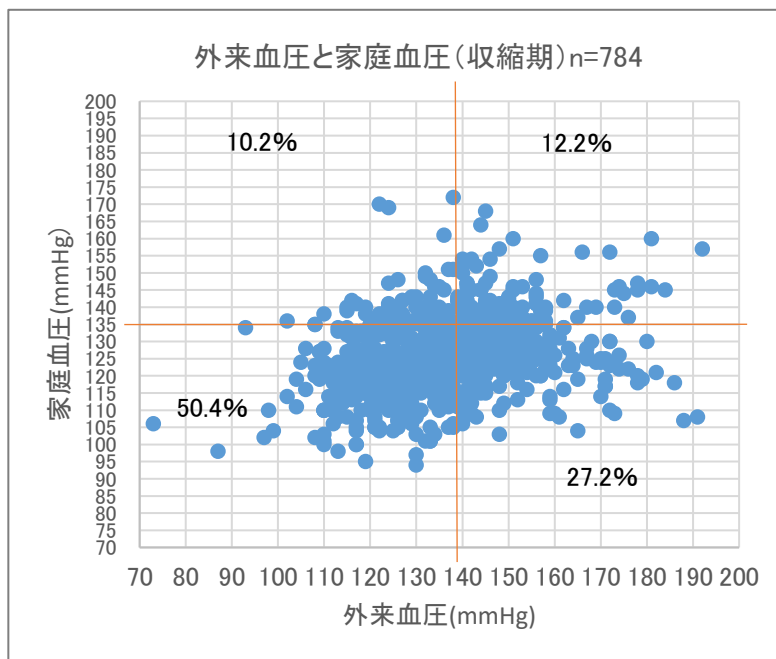
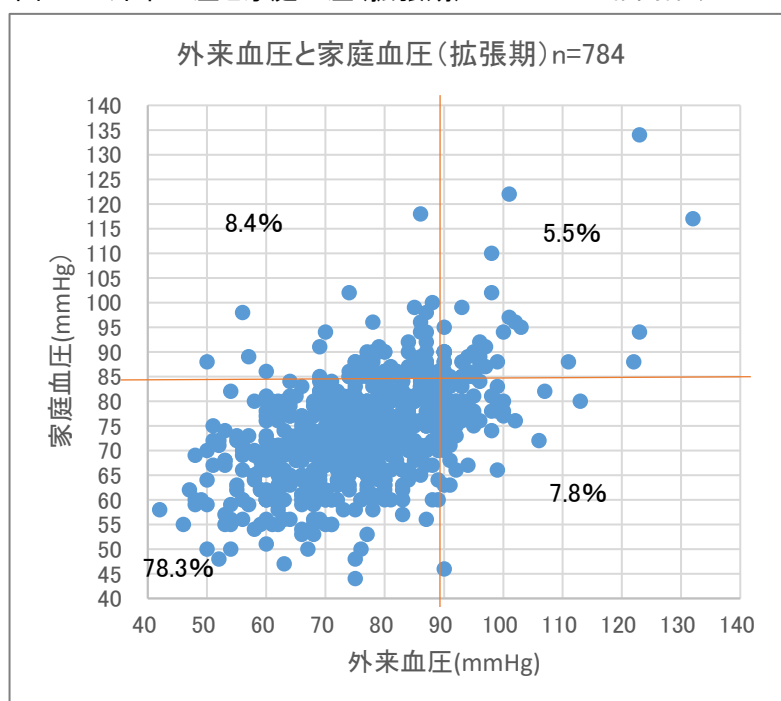


図4-17 外来血圧と家庭血圧(拡張期) 相関係数 0.524



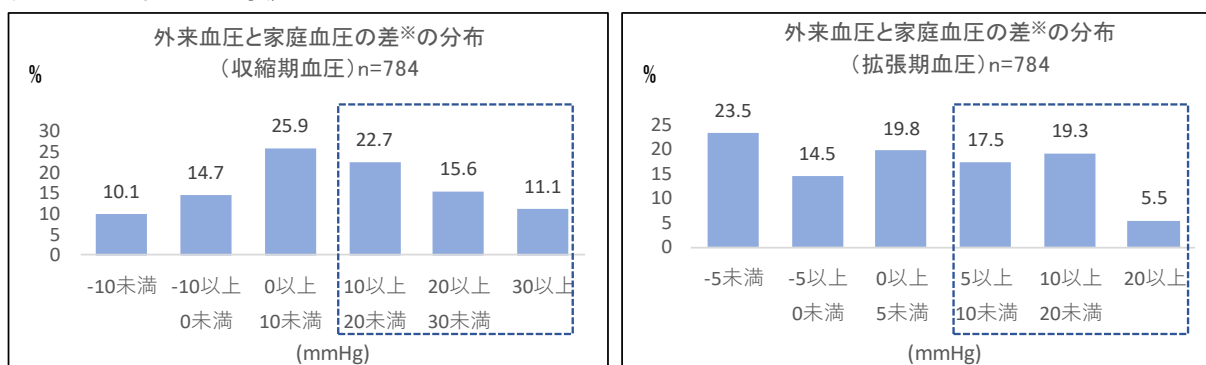
外来血圧と家庭血圧の差

外来血圧と家庭血圧の差（外来血圧 - 家庭血圧）は、10.2（±17.2）（mmHg）／2.3（±11.0）（mmHg）であったが、分布からは、収縮期血圧で外来血圧が家庭血圧より10mmHg以上高い割合が全体の49.4%で約半数を占めた。拡張期血圧については外来血圧が5mmHg以上高い割合が42.3%を占めた。

表4-18 外来血圧と家庭血圧の差（n=784）

	mmHg	平均値	標準偏差
外来血圧と家庭血圧の差（収縮期）		10.2	17.19
外来血圧と家庭血圧の差（拡張期）		2.3	10.95

図4-19 外来血圧と家庭血圧の差



※ 1 回目外来血圧 - 直近家庭血圧

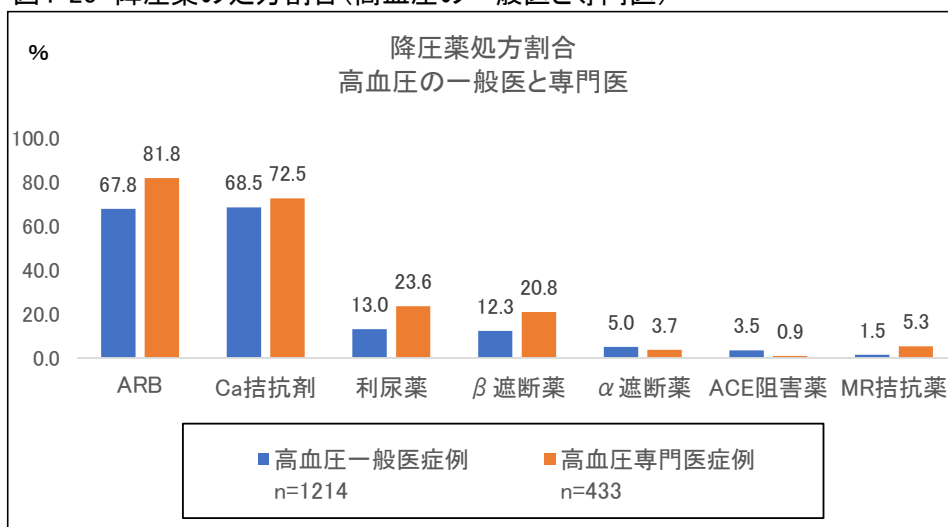
② 降圧薬の処方

【高血圧症例】

降圧薬の処方割合

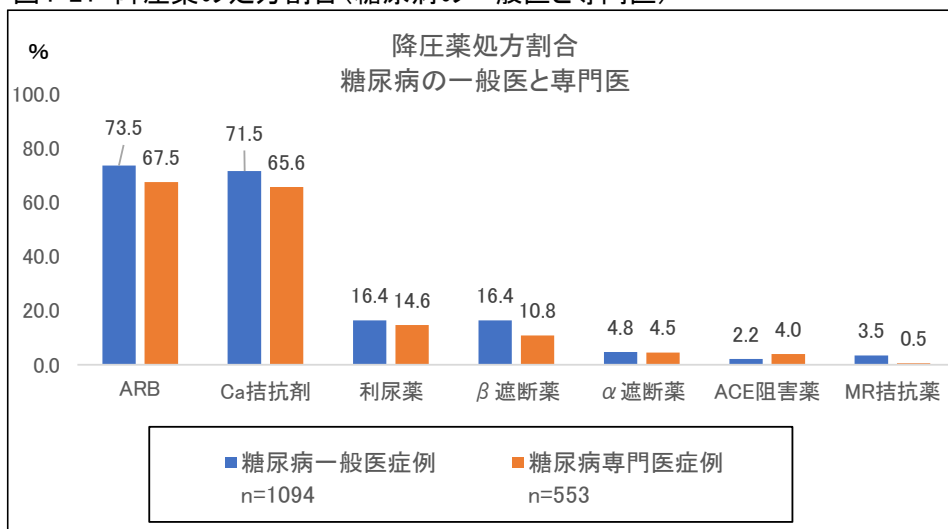
高血圧一般医症例と、高血圧専門医症例ともにARB（アンジオテンシンII受容体拮抗薬）、カルシウム拮抗剤の処方割合が高く、続いて利尿薬、β遮断薬であった。ACE阻害薬は専門医では0.9%で処方がほとんど行われていなかった。糖尿病の一般医と専門医の処方を比較すると、一般医症例における処方割合がやや高い傾向がみられた。

図4-20 降圧薬の処方割合(高血圧の一般医と専門医)



配合薬を含む

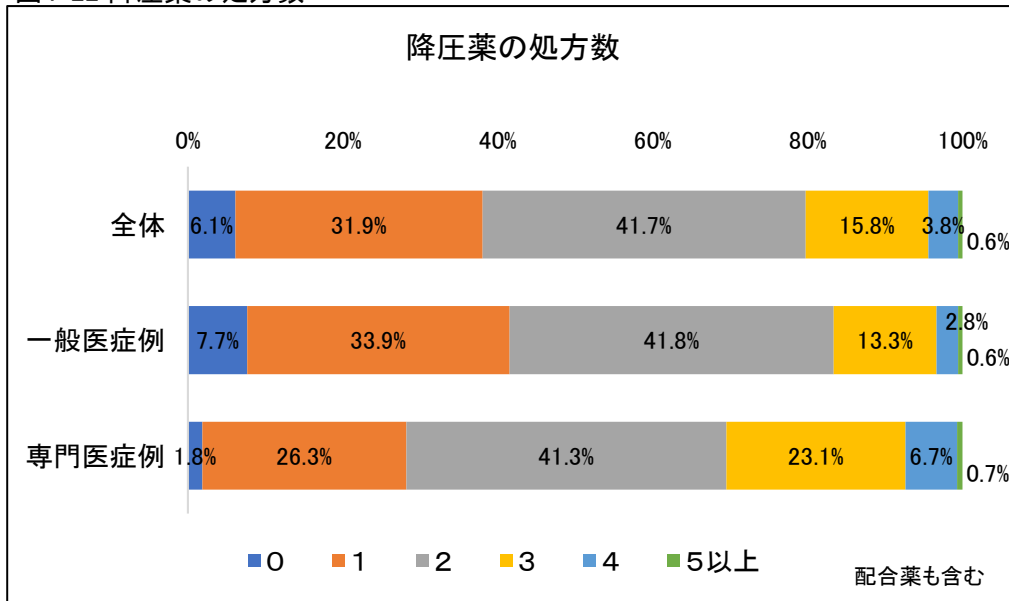
図4-21 降圧薬の処方割合(糖尿病の一般医と専門医)



配合薬を含む

降圧薬処方数は、全体では、0剤が6.1%、1剤のみが31.9%、2剤41.7%、3剤15.8%、4剤以上が4.4%を占めた。一般医症例では1剤が33.9%で2剤が41.8%、専門医症例では1剤が26.3%、2剤が41.3%で一般医症例とほぼ同じ割合、3剤が23.1%で一般医症例より10ポイント高かった。

図4-22 降圧薬の処方数



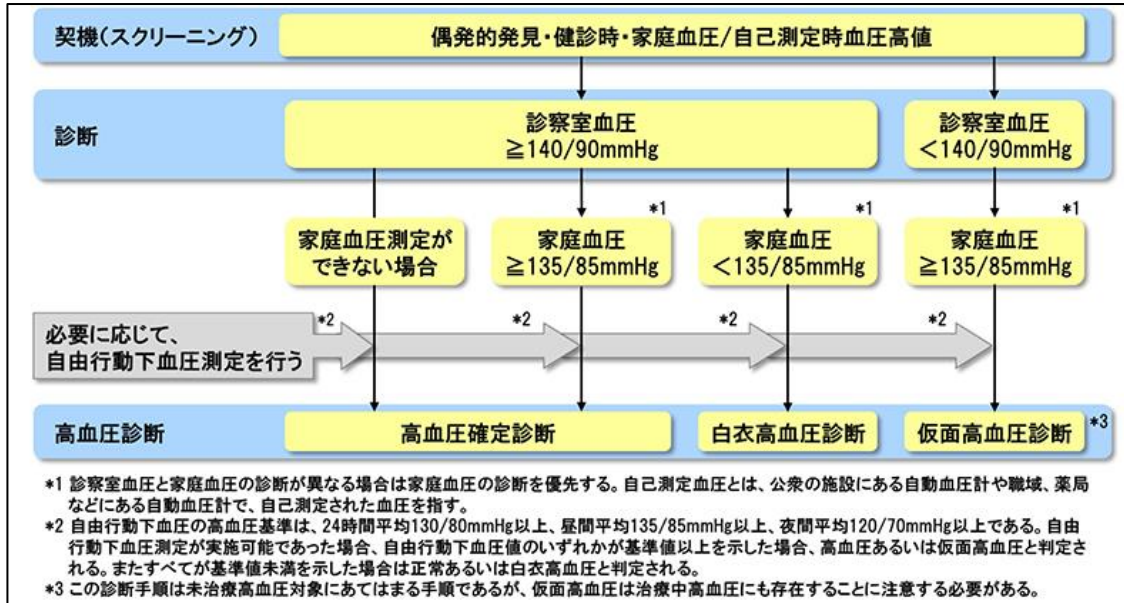
③ 塩分摂取量と血圧値

塩分摂取量別に平均血圧値を比較すると、摂取量の増加に応じて血圧の上昇がみられた。塩分摂取量と収縮期血圧の間には弱い有意な相関もみられた（外来血圧：.145、家庭血圧：.181、 $p<0.001$ ）。多変量解析では血圧値の決定要因として塩分摂取量の影響がみられ、塩分コントロールの重要性が示唆されている。ただし、症例数に限界があることから、今後、症例を増やして改めて解析を行うこととしたい。

表4-23 塩分摂取量と血圧値

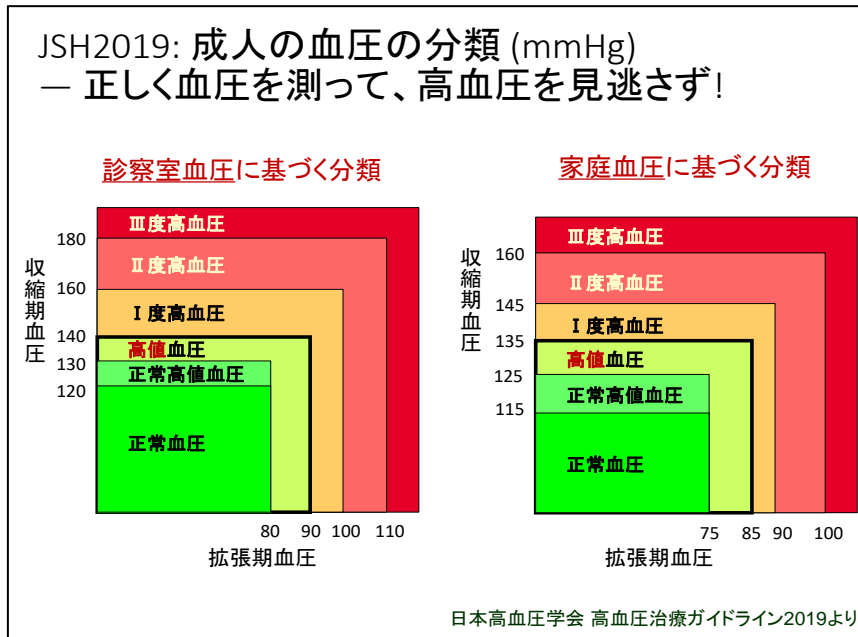
1日塩分摂取量	外来血圧(mmHg) (n=577)		家庭血圧(mmHg) (n=383)	
	収縮期	拡張期	収縮期	拡張期
6g未満	132.5	75.2	122.6	72.7
6g～10g未満	135.4	76.0	124.6	74.2
10g以上	136.2	76.9	126.6	75.4
全体	135.5	76.3	125.2	74.5

図4-24 血圧測定と高血圧診断手順



出所: 高血圧治療ガイドライン2019(日本高血圧学会)⁵
高血圧診療ガイド2020(日本高血圧学会)⁶

図4-25 血圧の分類



5. 考察

J-DOMEレポートは毎年、参加施設にフィードバックとして配布しており今回は第3回目となる。本レポートでは、2018年～2020年の3年分の2型糖尿病登録症例(n=2,139)と、2020年から新たに対象疾患とした高血圧症例(n=1,647)を集計・分析した。

糖尿病については、症例全体の平均HbA1c値(7.1%)、BMI(24.9kg/m²)、中性脂肪(153.6mg/dL)、総コレステロール値(190.1mg/dL)に悪化傾向は見られず、全体としては体重管理、血糖コントロール、食事管理が行われていた。ただし、コロナ禍の受診控えで受診回数が大幅に減少した症例のHbA1c値は、2019年から20年にかけて悪化がみられた(7.4%から7.8%)。また、2018年から20年にかけて、糖尿病網膜症など糖尿病合併症がある症例の割合が専門医症例で顕著に増加していた(19.7%から24.7%)。腎症病期の第3期以上は一般医症例で4.3%、専門医症例では6.5%を占めた。

一方、症例の平均年齢の上昇の影響もあり、併発疾患の診断ありの症例の割合も2018年から増加がみられ、一般医症例では冠動脈疾患(7.9%から9.4%)、がん・悪性腫瘍(8.3%から10.2%)の増加がみられた。罹患年数の長い症例での重症化の実態も示された。わが国の糖尿病患者の死因第1位は悪性新生物の38.3%、第2位は感染症の17.0%、第3位は血管障害(慢性腎不全、虚血性心疾患、脳血管障害)の14.9%とされており⁷、併存疾患の症例について今後も注視していく必要がある。

糖尿病合併症と併発疾患の発症・進展の抑制が必要とされる中、本症例全体では眼科定期受診を行っている割合が59.0%、歯科定期受診は37.4%であった。また、特定健診、一般の健診を受けている割合はそれぞれ25.3%、31.5%であった。糖尿病治療の目標は、健康な人と変わらないQOLの維持と寿命を確保することであり、検査、健診・検診については、かかりつけ医が患者へのさらなる啓発を行い、今後、これらの割合を高めていく必要性が示唆された。また、腎症病期を正確に把握していくための検査(尿アルブミン/クレアチン比)の実施率を上げていくことの必要性も示された。糖尿病治療薬は種類が多く選択が難しいとされているが、SGLT2阻害薬の処方割合は全体で30.1%で、一般医症例、専門医症例の両方で顕著に増加しており、糖尿病治療薬の傾向が明らかになった。

一方、高血圧症例は初年度で症例数に限界があるものの、外来血圧値（診察室血圧値）(n=1645)と家庭血圧値(n=784)の実態が示された。両方の測定値がある症例(n=784)の外来血圧の平均は136.3/76.6mmHg、家庭血圧の平均は126.1/74.3mmHgであった。また、外来血圧と家庭血圧の両方からみた高血圧管理率は、収縮期血圧で50.4%、拡張期で78.3%を占めた。ただし、家庭血圧の測定数が外来血圧の約半数であること、また外来血圧との差の分布に大きな偏りが見られたことから、家庭血圧の測定の普及や測定方法についてさらなる分析が必要と示唆された。

塩分と血圧の関係は広く知られているが、本症例からも推定塩分摂取量と血圧値との関係が示された。1日塩分摂取量が6 g未満の症例の外来血圧（収縮期）は132.5mmHgに対して10 g以上の症例は136.2mmHgであった。症例数を増やして改めて検証することが必要であるが、かかりつけ医による減塩指導の重要性が示された。降圧薬の処方割合はARB（アンジオテンシンII受容体拮抗薬）とカルシウム拮抗薬がそれぞれ71.5%、69.5%で、いずれも約7割の症例に処方されていた。高血圧専門医症例では利尿薬、β遮断薬がそれぞれ約2割使用されていた。

最後に、新型コロナウイルス感染症による昨今の生活習慣の変化で、糖尿病や高血圧を含む生活習慣病患者の増加や重症化が懸念されている。大幅に受診回数が減少した症例の状態は全体平均より数値が悪く、糖尿病症例のHbA1cは有意に増加していた。生活習慣病におけるかかりつけ医の処方や検査そして患者のモチベーションを維持するため、継続的な診療の重要性が示唆されている⁸。かかりつけ医による生活習慣病患者への最初の治療方針や診療は、患者のその後の経過に大きな影響を与え、かかりつけ医の役割は極めて大きい。そのような中、現場では、多様な疾患を有するさまざまな患者の診療に追われており、診療への支援、情報提供が可能となる基盤が求められている。かかりつけ医へのフィードバックは従来の大規模研究では行われていなかった取り組みであり、本レポートが客観的な情報として参考値となれば幸甚である。

謝辞

本研究事業に参加協力いただいている多くの医療機関の先生方、スタッフの皆様に改めて深謝申し上げます。

文献

1. 日本糖尿病学会 編・著. 糖尿病治療ガイド2020-2021
2. 日本透析医学会. わが国の慢性透析療法の現況. 透析会誌 53 (12) : 579~632, 2020
3. 日本腎臓学会 糖尿病性腎症合同委員会. 糖尿病性腎症病期分類の改訂について. 2013
4. 三浦克之 (研究代表者). 厚生労働行政推進調査事業費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)「新旧のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究 : NIPPON DATA80/90/2010/2020 (H30-循環器等・指定) . 平成30年度総括・分担研究報告書」. 2019
5. 日本高血圧学会 高血圧診療ガイドライン作成委員会 編. 高血圧治療ガイドライン2019
6. 日本高血圧学会 高血圧診療ガイド2020作成委員会 編. 高血圧診療ガイド2020
7. 中村二郎 他. 糖尿病の死因に関する委員会報告. 糖尿病. 2016; 59: 667-84
8. 江口成美. コロナ禍での糖尿病患者の受診控えと症状悪化について～J-DOME症例の分析～. 日医総研リサーチエッセイNo. 96. 2020

お知らせ

- ・新規参加の医療機関を募集しております。現在177施設のご参加です。
- ・引き続き症例登録をよろしくお願いいたします。
- ・J-DOME症例データを用いた独自研究の実施にご関心のある先生はぜひ下記にご連絡ください。
- ・ご不明な点やご意見などございましたらJ-DOME事務局に宜しく願い申し上げます。

ご意見・お問合せ・新規ご参加
jdome@jdome.jp
日医総研 03-3942-7215
J-DOME ホームページ
<https://www.jdome.jp>

J-DOME研究チーム

統括 中川俊男（日本医師会）
事業責任者 今村聡（日本医師会） 羽鳥裕（日本医師会） 宮川政昭（日本医師会）
研究責任者 江口成美（日本医師会総合政策研究機構）
事務局責任者 佐久間伸英（日本医師会総合政策研究機構）
事務局サポートオフィス IVC株式会社

研究会議


浅山敬	帝京大学	植木浩二郎	国立国際医療研究センター研究所
勝谷友宏	勝谷医院	辻本哲郎	虎ノ門病院
鳥居明	東京都医師会	南雲晃彦	ナグモ医院
◎野田光彦	国際医療福祉大学市川病院	松葉育郎	松葉医院
山本雄士	ミナケア	羽鳥裕	日本医師会
宮川政昭	日本医師会	江口成美	日本医師会総合政策研究機構

運営会議

植木浩二郎	国立国際医療研究センター研究所	大江和彦	東京大学
中島直樹	九州大学	野田光彦	国際医療福祉大学市川病院
三浦克之	滋賀医科大学	宮田裕章	慶應義塾大学
楽木宏実	大阪大学	◎今村聡	日本医師会

◎：座長

【参考】J-DOME症例登録票（2020年度）



日本医師会 かがりつけ医データベース研究事業（J-DOME）

2020年度（糖尿病・高血圧）

2020年度は糖尿病症例と高血圧症例を対象です。よろしくお願ひ申し上げます。
赤字の項目は必須項目です。新規項目にはNEWを表示いたします。
■糖尿病症例は、1～7の項目に入力
■高血圧症例は、2と7以外全てに入力

施設登録番号
症例登録票 v4.3 2020

登録番号 (J-DOME 登録票の種類/番号)	同意の取得	西暦 20 年 月 日	性別	年齢
性別	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> あり		<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	（ ）歳
年齢			（ ）cm	（ ）kg
身長		（ ）年		
喫煙歴	<input type="checkbox"/> あり ()本/日 ・ 年数 ()年	週に1～3日	<input type="checkbox"/> なし	過去にあり
飲酒頻度	毎日	週に4～6日	週に1～3日	月に1日～3日
飲酒の1日当たりの飲酒量(日本酒換算)	0杯はない	1合(180ml)未満	1合～3合未満	3合～
生活習慣の指導	食事療法 <input type="checkbox"/> 行っている <input type="checkbox"/> 行っていない	減塩の指導 <input type="checkbox"/> 行っている <input type="checkbox"/> 行っていない	運動療法の指導 <input type="checkbox"/> 行っている <input type="checkbox"/> 行っていない	<input type="checkbox"/> 行っている <input type="checkbox"/> 行っていない

糖尿病症例のみ

糖尿病の診断年月 (西暦 年 月)	当院での糖尿病診断	当院での糖尿病診断 (2割等以内)	糖尿病の家系歴 (2割等以外)	糖尿病網膜症	神経障害	足の状態	糖尿病腎症病期分類
（ ）年 ()月	<input type="checkbox"/> 初診 <input type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 1～5年 <input type="checkbox"/> 6～10年 <input type="checkbox"/> 11～15年 <input type="checkbox"/> 15年以上	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 単純 <input type="checkbox"/> 増殖 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	足白癩: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 不明	足痛症: <input type="checkbox"/> あり (口麻痺 <input type="checkbox"/> 口痺 <input type="checkbox"/> なし) <input type="checkbox"/> 不明
						糖尿病腎症病期分類	
						<input type="checkbox"/> 無または第1期 <input type="checkbox"/> 第2期 <input type="checkbox"/> 第3期 <input type="checkbox"/> 第4期 <input type="checkbox"/> 第5期 <input type="checkbox"/> 不明	
						※第5期の場合は:人工透析の導入 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
9 高血圧							
外来収縮期血圧 (必須)	血圧値	平均時	外来収縮期血圧 (必須)	平均時	24時間平均血圧 (必須)		
() mmHg	() mmHg / () mmHg	() mmHg	() mmHg	() mmHg	() mmHg		
4 検査値							
中性脂肪	総コレステロール	LDLコレステロール	血清クレアチニン	尿酸値	ALT	ケトン体	
() mg/dl	() mg/dl	() mg/dl	() mg/dl	() mg/dl	() U/L	() 未満・不明	
5 処方薬							
糖尿病薬	降圧薬	脂質異常症薬	抗血小板薬	糖尿病薬	降圧薬	脂質異常症薬	抗血小板薬
<input type="checkbox"/> フルボニル尿素薬 (SU) 薬 <input type="checkbox"/> ナットリジウム薬 <input type="checkbox"/> DPP-4阻害薬 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> ビタアパイド薬 <input type="checkbox"/> ACE阻害薬 <input type="checkbox"/> 利尿薬	<input type="checkbox"/> ビガアナイド薬 <input type="checkbox"/> SGLT2阻害薬 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> アスピリン <input type="checkbox"/> カルシウム拮抗薬 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> インスリン分泌促進薬 (グリニド薬) <input type="checkbox"/> インスリン製剤 <input type="checkbox"/> GLP-1受容体作動薬 (注射) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> カルシウム拮抗薬 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> ACE阻害薬 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> アスピリン <input type="checkbox"/> DOAC <input type="checkbox"/> その他

6 併発疾患	初回又は前回登録時以降 変化なし <input type="checkbox"/> 前回登録時以降 変化(新規イベントあり)	初回又は前回登録時以降 変化なし <input type="checkbox"/> 前回登録時以降 変化(新規イベントあり)	初回又は前回登録時以降 変化なし <input type="checkbox"/> 前回登録時以降 変化(新規イベントあり)	初回又は前回登録時以降 変化なし <input type="checkbox"/> 前回登録時以降 変化(新規イベントあり)
	※診断名: <input type="checkbox"/> 心筋梗塞 <input type="checkbox"/> 脳梗塞 <input type="checkbox"/> 心房細動 <input type="checkbox"/> 心不全 <input type="checkbox"/> 肺がん <input type="checkbox"/> 膵臓がん <input type="checkbox"/> 腎臓がん	※診断名: <input type="checkbox"/> 心筋梗塞 <input type="checkbox"/> 脳梗塞 <input type="checkbox"/> 心房細動 <input type="checkbox"/> 心不全 <input type="checkbox"/> 肺がん <input type="checkbox"/> 膵臓がん <input type="checkbox"/> 腎臓がん	※診断名: <input type="checkbox"/> 心筋梗塞 <input type="checkbox"/> 脳梗塞 <input type="checkbox"/> 心房細動 <input type="checkbox"/> 心不全 <input type="checkbox"/> 肺がん <input type="checkbox"/> 膵臓がん <input type="checkbox"/> 腎臓がん	※診断名: <input type="checkbox"/> 心筋梗塞 <input type="checkbox"/> 脳梗塞 <input type="checkbox"/> 心房細動 <input type="checkbox"/> 心不全 <input type="checkbox"/> 肺がん <input type="checkbox"/> 膵臓がん <input type="checkbox"/> 腎臓がん
	※症状: <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 息切れ <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 夜間頻尿 <input type="checkbox"/> 脚腫脹 <input type="checkbox"/> 顔面浮腫 <input type="checkbox"/> 動悸	※症状: <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 息切れ <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 夜間頻尿 <input type="checkbox"/> 脚腫脹 <input type="checkbox"/> 顔面浮腫 <input type="checkbox"/> 動悸	※症状: <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 息切れ <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 夜間頻尿 <input type="checkbox"/> 脚腫脹 <input type="checkbox"/> 顔面浮腫 <input type="checkbox"/> 動悸	※症状: <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 息切れ <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 夜間頻尿 <input type="checkbox"/> 脚腫脹 <input type="checkbox"/> 顔面浮腫 <input type="checkbox"/> 動悸
	※検査値: <input type="checkbox"/> HbA1c <input type="checkbox"/> コレステロール <input type="checkbox"/> 血糖 <input type="checkbox"/> 尿酸 <input type="checkbox"/> 腎機能 <input type="checkbox"/> 心機能	※検査値: <input type="checkbox"/> HbA1c <input type="checkbox"/> コレステロール <input type="checkbox"/> 血糖 <input type="checkbox"/> 尿酸 <input type="checkbox"/> 腎機能 <input type="checkbox"/> 心機能	※検査値: <input type="checkbox"/> HbA1c <input type="checkbox"/> コレステロール <input type="checkbox"/> 血糖 <input type="checkbox"/> 尿酸 <input type="checkbox"/> 腎機能 <input type="checkbox"/> 心機能	※検査値: <input type="checkbox"/> HbA1c <input type="checkbox"/> コレステロール <input type="checkbox"/> 血糖 <input type="checkbox"/> 尿酸 <input type="checkbox"/> 腎機能 <input type="checkbox"/> 心機能

糖尿病症例のみ

7 糖尿病	糖尿病の診断 (年1回以上)	糖尿病の診断 (年1回以上)	糖尿病の診断 (年1回以上)	糖尿病の診断 (年1回以上)
	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明
	※診断名: <input type="checkbox"/> 1型 <input type="checkbox"/> 2型 <input type="checkbox"/> 不明	※診断名: <input type="checkbox"/> 1型 <input type="checkbox"/> 2型 <input type="checkbox"/> 不明	※診断名: <input type="checkbox"/> 1型 <input type="checkbox"/> 2型 <input type="checkbox"/> 不明	※診断名: <input type="checkbox"/> 1型 <input type="checkbox"/> 2型 <input type="checkbox"/> 不明
	※症状: <input type="checkbox"/> 多飲 <input type="checkbox"/> 多尿 <input type="checkbox"/> 多飲多尿 <input type="checkbox"/> 倦怠	※症状: <input type="checkbox"/> 多飲 <input type="checkbox"/> 多尿 <input type="checkbox"/> 多飲多尿 <input type="checkbox"/> 倦怠	※症状: <input type="checkbox"/> 多飲 <input type="checkbox"/> 多尿 <input type="checkbox"/> 多飲多尿 <input type="checkbox"/> 倦怠	※症状: <input type="checkbox"/> 多飲 <input type="checkbox"/> 多尿 <input type="checkbox"/> 多飲多尿 <input type="checkbox"/> 倦怠
	※検査値: <input type="checkbox"/> HbA1c <input type="checkbox"/> 血糖 <input type="checkbox"/> 尿糖 <input type="checkbox"/> 尿中糖化血红蛋白	※検査値: <input type="checkbox"/> HbA1c <input type="checkbox"/> 血糖 <input type="checkbox"/> 尿糖 <input type="checkbox"/> 尿中糖化血红蛋白	※検査値: <input type="checkbox"/> HbA1c <input type="checkbox"/> 血糖 <input type="checkbox"/> 尿糖 <input type="checkbox"/> 尿中糖化血红蛋白	※検査値: <input type="checkbox"/> HbA1c <input type="checkbox"/> 血糖 <input type="checkbox"/> 尿糖 <input type="checkbox"/> 尿中糖化血红蛋白

高血圧症例のみ

8 高血圧	高血圧の診断 (西暦 年 月)	高血圧の診断 (西暦 年 月)	高血圧の診断 (西暦 年 月)	高血圧の診断 (西暦 年 月)
	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明
	※診断名: <input type="checkbox"/> 1次性 <input type="checkbox"/> 2次性	※診断名: <input type="checkbox"/> 1次性 <input type="checkbox"/> 2次性	※診断名: <input type="checkbox"/> 1次性 <input type="checkbox"/> 2次性	※診断名: <input type="checkbox"/> 1次性 <input type="checkbox"/> 2次性
	※症状: <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 動悸 <input type="checkbox"/> 視力低下	※症状: <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 動悸 <input type="checkbox"/> 視力低下	※症状: <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 動悸 <input type="checkbox"/> 視力低下	※症状: <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 動悸 <input type="checkbox"/> 視力低下
	※検査値: <input type="checkbox"/> 血圧 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 眼底検査 <input type="checkbox"/> 腎機能	※検査値: <input type="checkbox"/> 血圧 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 眼底検査 <input type="checkbox"/> 腎機能	※検査値: <input type="checkbox"/> 血圧 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 眼底検査 <input type="checkbox"/> 腎機能	※検査値: <input type="checkbox"/> 血圧 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 眼底検査 <input type="checkbox"/> 腎機能

糖尿病症例と高血圧症例の両方

9 糖尿病と高血圧	糖尿病の診断 (年1回以上)	高血圧の診断 (西暦 年 月)	糖尿病と高血圧の両方の診断
	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明
	※診断名: <input type="checkbox"/> 1型 <input type="checkbox"/> 2型 <input type="checkbox"/> 不明	※診断名: <input type="checkbox"/> 1次性 <input type="checkbox"/> 2次性	※診断名: <input type="checkbox"/> 1型 <input type="checkbox"/> 2型 <input type="checkbox"/> 不明